

スポーツ神奈川



国民スポーツ大会



東京 2025 デフリンピック



エンジョイ！バレーボール
フェスティバル 2025 代表



エンジョイ！剣道
フェスティバル 2026 代表



親子卓球教室

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業



Kanagawa Sport Association

公益財団法人 神奈川県スポーツ協会

URL <https://sports-kanagawa.com>



医療法人 横浜未来ヘルスケアシステム

<法人理念> One for All, All for One.



パリオリンピック 2024 日本代表
内海春菜子 選手 所属



YOKOHAMA TKM は横浜未来ヘルスケアシステムを中心に運営する女子ラグビーチームです。

- 病院**
- 戸塚共立第1病院 (二次救急医療機関)
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 116 TEL 045-864-2501
 - 戸塚共立第2病院 (二次救急医療機関)
〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町 579-1 TEL 045-881-3205
 - 戸塚共立いすみ野病院 (二次救急医療機関)
〒245-0024 横浜市泉区和泉中央北 1-40-34 TEL 045-800-0320
 - よこすか浦賀病院 (二次救急医療機関)
〒239-0824 横須賀市西浦賀 1-11-1 TEL 046-841-0922
 - 奥沢病院 (東京都指定二次救急医療機関)
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 2-11-11 TEL 03-5701-7788
 - 大田池上病院 (東京都指定二次救急医療機関)
〒146-0082 東京都大田区池上 2-7-10 TEL 03-3752-1111

- クリニック**
- 戸塚共立第1病院附属 さくらクリニック (眼科・MRIセンター)
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 116-3 TEL 045-864-2065
 - 戸塚共立あさひクリニック (皮膚科・形成外科・内科)
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 116-15 C.I.スクエア 2階 TEL 045-864-2565
 - 戸塚共立おとキッズクリニック (耳鼻咽喉科・小児科)
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 4253-1 サクラス戸塚 5階 TEL 045-869-1500
 - 戸塚共立第1病院附属 サクラス乳腺クリニック (乳腺外科)
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 4253-1 サクラス戸塚 6階 TEL 045-869-6888
 - 戸塚共立レディースクリニック (産科・婦人科)
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 157-3 ONE FOR ALL 横浜 TEL 045-285-1103
 - 戸塚共立メディカルサテライト (健診センター)
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 3970-5 TEL 045-869-4605
 - 戸塚共立ステーションクリニック (人工透析)
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 16-1 トッカーナモール 5階 TEL 045-869-1557
 - 戸塚共立透析クリニック (人工透析)
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 157-3 ONE FOR ALL 横浜 TEL 045-869-4737

- 介護施設**
- 介護老人保健施設 ヒューマンライフケア横浜
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 1800-3 TEL 045-866-2000
 - グループホーム横浜名瀬・彩り
〒245-0051 横浜市戸塚区名瀬町 793-2 TEL 045-810-6868
 - グループホーム横浜汲沢・彩り
〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町 500-3 TEL 045-881-2341
 - 戸塚共立リハビリデイサービス泉
〒245-0024 横浜市泉区和泉中央北 1-40-40 TEL 045-443-6449
 - 戸塚共立 結の杜 下倉田
(サービス付き高齢者向け住宅・デイサービス・ヘルパーステーション・ケアプランセンター)
〒244-0815 横浜市戸塚区下倉田町 1157-1 TEL 045-864-1121
 - 介護付き有料老人ホーム 戸塚共立ゆかりの里
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 157-3 ONE FOR ALL 横浜 TEL 045-285-1165

- 関連事業**
- 学校法人栄学園 横浜未来看護専門学校
〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町 365-2 TEL 045-864-8855
 - 戸塚共立ひかり病児保育室 (横浜市委託事業)
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 157-3 ONE FOR ALL 横浜 TEL 045-871-1262
 - 戸塚共立訪問看護ステーション
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 4130-5 R・K・BLD Totsuka II 2階 TEL 045-866-0121
 - 大田池上訪問看護ステーション
〒146-0082 東京都大田区池上 3-28-14 フォレストガイア 1F TEL 03-3752-0151
 - 健康支援センター TMG Fit
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 4130-5 R・K・BLD Totsuka II 2階 TEL 045-862-2282
 - 女子ラグビークラブ YOKOHAMA TKM**
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 4130-5 R・K・BLD Totsuka II 2階 TEL 045-438-8925
 - 一般社団法人 横浜 TKM
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 4130-5 R・K・BLD Totsuka II 2階 TEL 045-438-8925
 - 地域交流施設 ONE FOR ALL 横浜
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 157-3 TEL 045-871-7831
 - 株式会社 横浜メディカルケア
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 4130-5 R・K・BLD Totsuka II 1階 TEL 045-443-7631
 - 一般社団法人 TMG本部
〒335-0023 埼玉県戸田市本町 1-22-3 TEL 048-442-6418
 - 医療法人 横浜未来ヘルスケアシステム本部
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 116-15 C.I.スクエア 3階 TEL 045-865-0900

横浜未来ヘルスケアシステム



◇理事会・評議員会の報告	2
◇第79回国民スポーツ大会「わたSIGA 輝く国スポ2025」神奈川県選手団の活躍	3
◇神奈川県高等学校体育連盟 令和7年度活動報告	17
◇神奈川県中学校体育連盟 令和7年度活動報告	24
◇神奈川県小学校体育研究会 令和7年度活動報告	29
◇令和7年度神奈川県スポーツ少年団競技別交流大会競技結果	30
◇加盟団体紹介「神奈川県ボクシング連盟」	33
◇加盟団体紹介「一般社団法人神奈川県クレー射撃協会」	34
◇スポーツ随想「一般社団法人日本デフバレーボール協会」～デフリンピックを終えて～	35
◇かながわアスリートネットワーク協働事業「親子卓球教室」	41
◇日常生活でもフェアプレー「いじめ防止啓発ポスター」	42
◇公認スポーツ指導者制度の改定についてお知らせ	43
◇おめでとうございます！～各表彰受章・受賞者紹介～	44
◇ご支援ありがとうございます！令和7年度各種協賛企業・団体、賛助会員の紹介	46
◇特別協賛・賛助会員等の募集について / スポーツ神奈川への広告募集について / ホームページへのバナー広告について / 神奈川県スポーツ協会暴力行為・コンプライアンス相談窓口ホットライン	48
◇訃報 / 事務局だより / 編集後記	49

金曜夜は、サッカーファン必見!

試合解説や次戦の展望、ここでしか見られない選手の素顔まで
横浜F・マリノスの情報は“キクマリ”で!

番組
公式サイト



毎週金曜日 夜10:00~10:30

KICK OFF

F・Marinos

キックオフ・F・マリノス
MC 小山愛理

キックオフ・F・マリノス
MC 波戸康広



選手のスペシャル対談など“スピベル”は今季も見逃せない!
湘南ベルマーレの魅力に迫る!

毎月第4金曜日 夜9:00~9:30



番組
公式サイト



■MC / 猪狩佑貴 ■ナビゲーター / 三村ロンド ※変更の可能性あり、放送日・休止情報は番組HPをご確認ください。



地上波**3ch**

tvkは神奈川のスポーツを応援します!



©tvk/ROBOT

理事会・評議員会の報告

令和7年度事業計画及び収支予算は、令和6年度第5回理事会での審議を経て、令和6年度臨時評議員会において承認され、令和6年度事業報告及び決算報告は、令和7年度第1回理事会での審議を経て、令和7年度定時評議員会において承認されました。

令和6年度第4回理事会 令和6年12月6日（金） 神奈川県民センター

- 審議事項 1 経理規程の一部改正について
協議事項 1 次期役員改選に向けた関係規程の整備について
2 事務局体制の中・長期計画の見直しについて

令和6年度第5回理事会 令和7年3月14日（金） 県立スポーツ会館

- 審議事項 1 評議員及び役員選任規程の一部改正について
2 役員候補者選考委員会運営規程の制定について
3 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
4 事務局体制の中・長期計画の見直しについて
4 令和6年度臨時評議員会の開催について

令和7年度第1回理事会 令和7年6月13日（金） 県立スポーツ会館

- 審議事項 1 令和6年度事業報告(案)及び決算報告(案)について
2 参与の推薦について
3 第81回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会の神奈川開催に係る受諾について
4 令和7年度定時評議員会の開催について

令和7年度第2回理事会 令和7年9月12日（金） 県立スポーツ会館

- 審議事項 1 辞任に伴う後任評議員の推薦について

令和7年度第3回理事会 令和7年12月5日（金） 県立スポーツ会館

- 審議事項 1 諸規程の改正について

令和6年度臨時評議員会 令和7年3月29日（土） 県立スポーツ会館（Web併用）

- 審議事項 1 理事（学識経験者）の補充について
2 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

令和7年度定時評議員会 令和7年6月28日（土） 県立スポーツ会館（Web併用）

- 審議事項 1 辞任に伴う後任理事の選出について
2 令和6年度事業報告(案)及び決算報告(案)について

第79回国民スポーツ大会 「わたSHIGA輝く国スポ2025」 神奈川県選手団の活躍

会期前開催① 令和7年9月 6日～ 9月15日 水泳競技、ビーチバレーボール、体操、自転車
 会期前開催② 令和7年9月21日～ 9月25日 自転車
 本大会 令和7年9月28日～10月 8日 陸上競技 他 33競技



神奈川県は
 男女総合成績 (天皇杯) 6位
 女子総合成績 (皇后杯) 7位

競技別天皇杯 水泳競技 優勝 神奈川県



【水泳競技】競泳チーム



【水泳競技】メドレーリレー 4×100m 成年男子 神奈川県
(西村優雅選手、深沢大和選手、五味智信選手、森拓海選手)



【水泳競技】飛板飛込
成年男子 坂井丞選手



【水泳競技】水球 少年男子 神奈川県
県立神奈川工業高等学校

競技別天皇杯 卓球競技 優勝 神奈川県
 競技別皇后杯 卓球競技 優勝 神奈川県



【卓球競技】成年女子、少年男子、少年女子



【卓球競技】成年女子
 永尾堯子選手、笹尾明日香選手、小畑美月選手



【卓球競技】少年男子
 川上流星選手、伊藤佑太選手、吉元翼海選手

優勝者・優勝チーム



【陸上競技】やり投 少年男子 松本一颯選手
砲丸投 成年女子 大迫晴香選手



【カヌー競技】ワイルドウォーター
カヤックシングル
成年男子 平岩達樹選手



【ライフル競技】
50mライフル立射（40発）
成年男子 荒井陽文選手



【ボクシング競技】ピン級
少年男子 吉井康介選手



【馬術競技】
標準障害飛越 少年 杉山幸恵選手



【スポーツクライミング競技】ボルダー・リード
少年男子 濱田琉誠選手 仲田和樹選手

第79回国民スポーツ大会優勝者

	競技	種別	種目	選手等	備考	
1	陸上	成年女子	砲丸投	大迫晴香	染めQ	
2		少年男子A	やり投	松本一颯	森村学園高等学校	
3		少年女子A	300mH	ガードナ レイチェル麻由	法政大学第二高等学校	
4	水泳	成年男子	自由形400m	田 渕 海 斗	明治大学大学院	大会新
5			バタフライ100m	五 味 智 信	ミキハウス	
6			個人メドレー200m	牧 野 航 介	東洋大学	大会新
7 8			メドレーリレー 4×100m	西 村 優 雅 深 沢 大 和 五 味 智 信 森 拓 海	明治大学 東急 ミキハウス 国土館大学	
9		成年女子	自由形100m	平 井 瑞 希	TOKIOインカラミ	大会新
10			バタフライ100m			
11		少年男子B	バタフライ100m	河 井 一 桜	慶應義塾高等学校	大会新
12 13 14 15			メドレーリレー 4×100m	西 村 光 惺 奥 山 翼 河 井 一 桜 山 田 将 大	慶應義塾高等学校 日本大学藤沢高等学校 慶應義塾高等学校 湘南工科大学附属高等学校	大会新
16			少年女子A	平泳ぎ200m	石 川 真 菜	日本大学藤沢高等学校
17		ボクシング	少年男子	ピン級	吉 井 康 介	武相高等学校
18	卓球	成年女子	団体	永 尾 堯 子	サンリツ	
19 20				尾 明日香 小 畑 美 月	日本生命 デンソー	
21 22 23		少年男子	団体	川 上 流 星 伊 藤 佑 太 吉 元 巽 海	星槎国際横浜高等学校 星槎国際横浜高等学校 横浜市立横浜商業高等学校	
24	馬術	少年	標準障害飛越	杉 山 幸 恵	湘南学園中学校	
25	ライフル射撃	成年男子	50mライフル立射 (40発)	荒 井 陽 文	慶應義塾大学	日本新 大会新
26 27	スポーツ クライミング	少年男子	ボルダー・リード	濱 田 琉 誠 仲 田 和 樹	県立鎌倉高等学校 藤沢市立大清水中学校	
28	カヌー	成年男子	ワイルドウォーター カヤックシングル	平 岩 達 樹	Trigger	

競技別天皇杯優勝

水泳競技、卓球競技

競技別皇后杯優勝

卓球競技

※各競技において、それぞれの都道府県が獲得した競技得点及び参加得点の合計によって決められる競技別の総合成績。

第79回国民スポーツ大会 「わたSHIGA輝く国スポ」 神奈川県選手団成績一覧

会期前開催① 水泳、ビーチバレーボール、体操

令和7年9月6日～ 9月15日

会期前開催② 自転車

令和7年9月21日～ 9月25日

本大会 陸上 他33競技

令和7年9月28日～10月8日

1 【陸上競技】

種別	種目	選手名	所属	順位	得点	記録等
成年男子	走高跳	宮田 風	日本大学大学院	11位		2m10
	砲丸投	山田 暉斗	法政大学	7位	2.00	17m18
成年女子	100m	高橋 明日香	ジーケーライン	準決勝敗退		11"77
	100mH	鈴木 美帆	長谷川体育施設	途中棄権		
	400mH	イブラヒム 愛紗	成洋産業	5位	4.00	58"18
	走高跳	青山 夏実	ダイテックス	3位	6.00	1m76
	棒高跳	相原 ほのか	筑波大学	11位		3m70
	三段跳	中村 紗華	ビクトリーAC	6位	3.00	12m60
	砲丸投	大迫 晴香	染めQテクノロジィ	1位	8.00	15m36
ハンマー投	中務 真衣	MORE	9位		55m69	
少年男子A	300m	高橋 千尋	県立港北高等学校	予選敗退		34"34
	5000m競歩	及川 集雅	県立保土ヶ谷高等学校	5位	4.00	20'39"02
	三段跳	柳澤 響喜	法政大学第二高等学校	7位	2.00	14m71
	円盤投	小島 平	県立保土ヶ谷高等学校	7位	2.00	46m77
少年男子B	3000m	松本 一颯	森村学園高等部	1位	8.00	63m49
少年男子共通	3000m	山崎 圭人	東海大学付属相模高等学校	予選敗退		8'35"18
	110mH	村上 祥太郎	相洋高等学校	4位	5.00	13"49
	走高跳	井倉 大凱	川崎市立橘高等学校	16位		1m95
少年女子A	棒高跳	加藤 佑弥	横浜清風高等学校	2位	6.50	4m80
	100m	對馬 マリアム	県立荏田高等学校	準決勝敗退		12"04
	800m	永井 咲弥	県立横須賀高等学校	予選敗退		2'15"17
	3000m	前田 二千翔	三浦学苑高等学校	18位		9'36"95
	2000m障害			4位	5.00	9'37"54
300mH	ガードナ レイチェル麻由	法政大学第二高等学校	1位	8.00	41"11	
少年女子B	1500m	村松 帆乃美	東海大学付属相模高等学校	2位	7.00	4'25"78
少年女子共通	100mH	樋口 美玲	東海大学付属相模高等学校	3位	6.00	13"59
女子共通	4×100mリレー	天野、高橋(明)、井上、對馬		3位	6.00	44"83
男女混合	4×400mリレー	菊田、イブラヒム、高橋(千)、ガードナ		予選敗退		3'25"26
天皇杯順位及び得点				7位	92.50	
皇后杯順位及び得点				3位	63.00	

2 【水泳】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
成年男子	自由形50m	塩浦 慎理	Acqresta	3位	6.00	22"39
	自由形100m	森 拓海	国士舘大学	5位	4.00	49"50
	自由形400m	田 渕 海斗	明治大学大学院	1位	8.00	3'46"22
	背泳ぎ100m	西村 優雅	明治大学	4位	5.00	54"82
	平泳ぎ100m	深沢 大和	東急	2位	7.00	1'00"02
	バタフライ100m	五味 智信	ミキハウス	1位	8.00	51"35
	個人メドレー200m	牧野 航介	東洋大学	1位	8.00	1'55"85
	フリーリレー200m	塩浦、須田、五味、森		2位	7.00	1'28"84
	メドレーリレー400m	西村、深沢、五味、森		1位	8.00	3'34"57
成年女子	自由形50m	溝口 歩優	筑波大学	3位	5.50	25"42
	自由形100m	平井 瑞希	TOKIOインカラミ	1位	8.00	54"87
	自由形400m	小堀 倭加	あいおいニッセイ同和損害保険	5位	4.00	4'13"02
	背泳ぎ100m	山本 千晶	法政大学	4位	5.00	1'01"72
	平泳ぎ100m	小島 優々美	神奈川大学	7位	2.00	1'09"78
	バタフライ100m	平井 瑞希	TOKIOインカラミ	1位	8.00	56"70
	個人メドレー200m	山本 千晶	法政大学	2位	7.00	2'12"84
	フリーリレー200m	平井、溝口、安立、首藤		2位	7.00	1'40"39
メドレーリレー400m	山本、小島、平井、溝口		2位	7.00	4'01"91	

2 【水泳】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
少年男子A	自由形 50m	鈴木 蓮 波	日本大学高等学校	5位	4.00	2' 3" 15
	自由形 100m			3位	6.00	5' 0" 53
	自由形 400m	田 中 駿	桐光学園高等学校	3位	6.00	3' 51" 23
	背泳ぎ 200m	小 林 優 心	湘南工科大学附属高等学校	予選敗退		2' 05" 73
	平泳ぎ 200m	齋 藤 龍	慶應義塾高等学校	2位	7.00	2' 10" 96
	バタフライ 200m	打 出 晴 大	日本大学藤沢高等学校	予選敗退		1' 58" 63
	個人メドレー 400m	田 中 駿	日本大学藤沢高等学校	4位	5.00	4' 21" 57
	フリーリレー 800m		鈴木、井上、横田、田中	4位	5.00	7' 23" 50
メドレーリレー 400m		渡辺、齋藤、打出、鈴木	3位	6.00	3' 42" 81	
少年男子B	自由形 50m	山 田 将 大	湘南工科大学附属高等学校	2位	7.00	2' 3" 25
	自由形 100m			3位	6.00	5' 0" 78
	自由形 400m	伊 東 拓 海	湘南工科大学附属高等学校	予選敗退		4' 06" 50
	背泳ぎ 100m	西 村 光 暉	慶應義塾高等学校	5位	4.00	5' 7" 17
	平泳ぎ 100m	奥 山 翼	日本大学藤沢高等学校	4位	5.00	1' 03" 79
	バタフライ 100m	河 井 一 桜	慶應義塾高等学校	1位	8.00	5' 2" 75
	個人メドレー 200m	奥 山 翼	日本大学藤沢高等学校	予選敗退		2' 07" 19
	フリーリレー 400m		山田、西村、菅原、奥山	3位	6.00	3' 27" 12
メドレーリレー 400m		西村、奥山、河井、山田	1位	8.00	3' 42" 49	
少年女子A	自由形 50m	若 林 芽 依	日本大学高等学校	8位	1.00	2' 6" 42
	自由形 100m	谷 口 満里奈	日本大学藤沢高等学校	6位	3.00	5' 6" 71
	背泳ぎ 200m	鈴 木 結 蘭	日本大学高等学校	2位	7.00	2' 13" 51
	平泳ぎ 200m	石 川 真 菜	日本大学藤沢高等学校	1位	8.00	2' 26" 03
	個人メドレー 400m			2位	7.00	4' 41" 24
	フリーリレー 400m		谷口、石川、鈴木、若林	4位	5.00	3' 48" 81
	メドレーリレー 400m		鈴木、石川、根岸、谷口	2位	7.00	4' 07" 08
少年女子B	自由形 50m	本 保 花 菜 子	湘南工科大学附属高等学校	6位	3.00	2' 6" 36
	自由形 100m	佐々木 悠 乃	日本大学藤沢高等学校	1位	8.00	5' 6" 14
	背泳ぎ 100m	中 野 礼 依	日本大学藤沢高等学校	2位	7.00	1' 02" 61
	平泳ぎ 100m	橋 本 真 緒	日本大学高等学校	7位	2.00	1' 11" 85
	バタフライ 100m	坂 本 凌 子	日本大学藤沢高等学校	6位	3.00	1' 01" 51
	個人メドレー 200m	清 水 さやか	日本大学藤沢高等学校	7位	2.00	2' 19" 22
	フリーリレー 400m		佐々木、中野、山名、本保	3位	6.00	3' 48" 93
	メドレーリレー 400m		中野、橋本、坂本、佐々木	3位	6.00	4' 11" 54
少年女子共通	自由形 400m	佐々木 悠 乃	日本大学藤沢高等学校	予選敗退		4' 23" 46
成年男子	飛板飛込	坂 井 丞	ミキハウス	3位	6.00	4' 38.90
少年男子	飛板飛込	猿 田 煌 大	横浜隼人高等学校	4位	5.00	2' 68.30
	高飛込			10位		2' 04.60
少年女子	飛板飛込	八 木 星 輝	県立相模原弥栄高等学校	3位	5.50	1' 89.00
	高飛込			9位		1' 44.50
少年男子	水球	県立神奈川工業高等学校		4位	25.00	
女子		神奈川県選抜		7位	7.50	
少年女子	アーティスティックスイミング	神奈川県選抜 (福田、大野)		12位		3' 87.1493
成年男子	オープンウォーター	平 野 翔 一	日本大学	13位		5' 8" 05
成年女子		岩 崎 光 姫	関東学院大学	21位		1:08' 03" 05
天皇杯順位及び得点				1位	331.50	
皇后杯順位及び得点				2位	151.50	

3 【サッカー】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
成年男子			神奈川県選抜	1回戦敗退		対新潟
天皇杯順位及び得点				19位	10.00	
皇后杯順位及び得点				9位	10.00	

4 【テニス】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
成年男子			神奈川県選抜	2回戦敗退		対宮崎
成年女子			神奈川県選抜	1回戦敗退		対三重
少年男子			神奈川県選抜 (鈴木、名雪)	4位	15.00	対石川
少年女子			神奈川県選抜	3回戦敗退		対千葉
天皇杯順位及び得点				13位	25.00	
皇后杯順位及び得点				15位	10.00	

5 【ローイング】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
成年男子	ダブルスカル		神奈川県選抜	準決勝敗退		3' 16" 33
	シングルスカル	柳 青 希	日本大学	準決勝敗退		3' 34" 52
成年女子	シングルスカル	山 口 菜 奈	中央大学	準決勝敗退		3' 55" 43
少年男子	舵手つきクォドルプル		神奈川県選抜	準決勝敗退		3' 12" 30
	ダブルスカル		神奈川県選抜	準決勝敗退		3' 23" 32
	シングルスカル	三 浦 慎 史	横浜市立横浜商業高等学校	3位	6.00	3' 26" 23
少年女子	舵手つきクォドルプル		神奈川県選抜	準決勝敗退		3' 38" 21
天皇杯順位及び得点				22位	16.00	
皇后杯順位及び得点				25位	10.00	

6 【ボクシング】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
少年男子	ピン級	吉 井 康 介	武相高等学校	1位	8.00	対福井
	ライトフライ級	高 橋 海 蓮	武相高等学校	2回戦敗退		対愛媛
	フライ級	松 村 喜 心	県立西湘高等学校	1回戦敗退		対宮崎
	ウェルター級	岡 部 惇	浅野高等学校	5位	2.50	対佐賀
	ミドル級	影 山 煌 征	慶應義塾高等学校	5位	2.50	対広島
天皇杯順位及び得点				17位	23.00	
皇后杯順位及び得点				32位	0.00	

7 【バレーボール】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
少年男子	6人制		神奈川県選抜	2回戦敗退		対滋賀
少年女子			神奈川県選抜	7位	7.50	対東京
少年男子	ビーチバレー		神奈川県選抜	1回戦敗退		対佐賀
天皇杯順位及び得点				30位	17.50	
皇后杯順位及び得点				17位	17.50	

8 【体 操】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
少年女子	競技		神奈川県選抜 (小栗、紺田、加藤、阿部、遠藤)	5位	20.00	206.896
少年男子	新体操		光明学園相模原高等学校	5位	20.00	37.6125
成年女子	トランポリン	石 田 美咲希	金沢学院大学	2位	7.00	52.61
天皇杯順位及び得点				10位	57.00	
皇后杯順位及び得点				8位	37.00	

9 【バスケットボール】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
少年男子			神奈川県選抜	1回戦敗退		対石川
少年女子			神奈川県選抜	2回戦敗退		対鳥取
天皇杯順位及び得点				23位	10.00	
皇后杯順位及び得点				15位	10.00	

10 【レスリング】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等	
成年男子	フリースタイル	86kg級	磯 濱 広 大	日本大学	2回戦敗退	対新潟	
		97kg級	高 橋 凜太郎	神奈川大学グラロス	1回戦敗退	対石川	
	グレコローマンスタイル	67kg級	鈴 木 飛 来	育英大学	2回戦敗退	対和歌山	
		77kg級	デンジャフィールド ルーシアス アボロ	神奈川大学	1回戦敗退	対沖縄	
女子	フリースタイル	130kg級	岩 崎 和 志	中央大学	1回戦敗退	対栃木	
少年男子	フリースタイル	53kg級	小 川 舞	自由ヶ丘学園高等学校	3位	5.50	対兵庫
		60kg級	菅 原 大 志	慶應義塾高等学校	2回戦敗退	対千葉	
		65kg級	長 沼 一 汰	慶應義塾高等学校	2回戦敗退	対北海道	
	グレコローマンスタイル	80kg級	竹 内 健太郎	日本大学藤沢高等学校	2回戦敗退	対京都	
		92kg級	山 中 創 太	慶應義塾高等学校	2回戦敗退	対佐賀	
		51kg級	石 原 翔	日本大学藤沢高等学校	1回戦敗退	対埼玉	
		55kg級	望 月 楓 馬	日本大学藤沢高等学校	2回戦敗退	対石川	
		71kg級	金 子 日 明	日本大学藤沢高等学校	1回戦敗退	対北海道	
天皇杯順位及び得点				41位	15.50		
皇后杯順位及び得点				5位	15.50		

11 【セーリング】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
成年男子	470級	神奈川県選抜		10位		36
	ILCA7級	岡 田 佳 悟	早稲田大学	7位	2.00	21
	国スポウインドサーフィン級	池 田 拓 海	アクサ生命	5位	4.00	13
成年女子	セーリングスピリッツ級	神奈川県選抜(矢口、須永)		6位	9.00	35
	国スポウインドサーフィン級	堀 川 智 江	セントラルスポーツ	6位	3.00	18
少年男子	420級	神奈川県選抜		12位		28
	ILCA6級	加 原 弦 季	関東学院六浦高等学校	2位	7.00	8
少年女子	ILCA6級	飯 島 来 海	関東学院六浦中学校	11位		48
天皇杯順位及び得点				13位	35.00	
皇后杯順位及び得点				10位	22.00	

12 【ウェイトリフティング】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
成年男子	67kg級	宮 本 幹 大	法政大学	スナッチ		115kg
				クリーン&ジャーク		130kg
				トータル		245kg
	73kg級	山 崎 椋 太	日本大学	スナッチ	1.00	122kg
				クリーン&ジャーク	3.00	152kg
				トータル		274kg
女子	59kg級	佐 藤 友 咲	日本大学	スナッチ	1.00	80kg
				クリーン&ジャーク	2.00	105kg
				トータル	7位	185kg
少年男子	81kg級	都 築 陽 斗	日本大学藤沢高等学校	スナッチ	2.00	107kg
				クリーン&ジャーク	4.00	141kg
				トータル	7位	248kg
	96kg級	鈴 木 太 朗	法政大学第二高等学校	スナッチ	6.00	116kg
				クリーン&ジャーク	5.00	140kg
				トータル	4位	256kg
天皇杯順位及び得点				26位	34.00	
皇后杯順位及び得点				15位	13.00	

13 【ハンドボール】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
成年男子		神奈川県選抜		1回戦敗退		対香川
成年女子		東海大学		5位	12.50	対香川
少年男子		法政大学第二高等学校		5位	12.50	対京都
少年女子		神奈川県選抜		1回戦敗退		対愛知
天皇杯順位及び得点				11位	35.00	
皇后杯順位及び得点				8位	22.50	

14 【自転車】

種別	種目	氏 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等	
男子A	ポイントレース	三 浦 一 真	中央大学	8位	1.00	7	
	1kmタイムトライアル			13位		1'06"301	
	個人ロードレース			10位		2:52'57	
	スクラッチ	小 森 継 心	明星大学	9位			
	個人ロードレース			途中棄権			
	ケイリン			敗者復活戦敗退			
男子B	ポイントレース	滝 口 敬 司	県立保土ヶ谷高等学校	6位	3.00	14	
	1kmタイムトライアル			31位		1'09"093	
	個人ロードレース			22位		2:20'13	
	スクラッチ	川 野 鷹	県立保土ヶ谷高等学校	3位	6.00		
	ケイリン			眞 鍋 肇 太	県立保土ヶ谷高等学校	敗者復活戦敗退	
	個人ロードレース					2位	7.00
男子	4kmチーム・パシュート	三浦、小森、橋田、滝口		予選敗退		4'36"112	
女子	ポイントレース	渡 部 春 雅	GIANT Liv	2位	7.00	16	
	個人ロードレース			4位	5.00	1:13'58	
	スクラッチ	大 堀 博 美	イナーメ信濃山形	12位			
	個人ロードレース			15位		1:14'05	
	ケイリン	濱 彩 春	法政大学	10位			
	1kmタイムトライアル			18位		1'19"483	
	チームスプリント	渡部、濱		予選敗退		1'01"314	
天皇杯順位及び得点				15位	39.00		
皇后杯順位及び得点				9位	22.00		

15 【ソフトテニス】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
成年女子			神奈川県選抜	2回戦敗退		対和歌山
少年男子			神奈川県選抜	2回戦敗退		対宮城
天皇杯順位及び得点				24位	10.00	
皇后杯順位及び得点				14位	10.00	

16 【卓 球】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
成年男子			神奈川県選抜	1回戦敗退		対静岡
成年女子			神奈川県選抜 (永尾、笹尾、小畑)	1位	24.00	対滋賀
少年男子			神奈川県選抜 (川上、伊藤、吉元)	1位	24.00	対岩手
少年女子			神奈川県選抜 (櫻井、高橋、島村)	5位	7.50	対岡山
天皇杯順位及び得点				1位	65.50	
皇后杯順位及び得点				1位	41.50	

17 【相 撲】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
成年男子	団体		神奈川県選抜	予選敗退		
少年男子	団体		神奈川県選抜 (バトエルデン、吉岡、根上、太田、木村)	4位	25.00	対熊本
天皇杯順位及び得点				5位	35.00	

18 【馬 術】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
成年男子	スピードアンドハンディネス	杉 山 慎一郎	藤沢乗馬クラブ	16位		1' 28" 86
	六段障害飛越			途中棄権		
成年女子	標準障害飛越	杉 山 多恵子	藤沢乗馬クラブ	16位		減点8/時間1' 06" 02
	トップスコア			14位		600
少年	標準障害飛越	杉 山 幸 恵	湘南学園中学校	1位	8.00	減点0/時間1' 06" 09
	トップスコア			2位	7.00	1120
天皇杯順位及び得点				18位	25.00	
皇后杯順位及び得点				22位	10.00	

19 【フェンシング】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
成年男子	フルーレ		神奈川県選抜	予選敗退		
	サーブル			3回戦敗退		対岩手
少年男子	フルーレ		神奈川県選抜 (幸田、前田、田代)	5位	12.00	対埼玉
少年女子	フルーレ		神奈川県選抜	予選敗退		
天皇杯順位及び得点				18位	22.00	
皇后杯順位及び得点				16位	10.00	

20 【柔 道】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
女子			神奈川県選抜	3回戦敗退		対佐賀
少年男子			神奈川県選抜 (井上(太)、三ツ石、坪井、渡邊、井上(大))	5位	12.50	対滋賀
天皇杯順位及び得点				8位	22.50	
皇后杯順位及び得点				9位	10.00	

21 【ソフトボール】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
少年男子			神奈川県選抜	1回戦敗退		対福島
天皇杯順位及び得点				24位	10.00	
皇后杯順位及び得点				15位	10.00	

22 【バドミントン】

種 別	種目等	選 手 名	所 属	順 位	得 点	記 録 等
成年男子			神奈川県選抜 (岩野、川邊、松川)	3位	18.00	対岐阜
少年女子			神奈川県選抜	2回戦敗退		対香川
天皇杯順位及び得点				11位	28.00	
皇后杯順位及び得点				17位	10.00	

23 【弓道】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
成年男子	近的	神奈川県選抜 (渡邊、山本、大矢)		予選敗退		13中
	遠的			4位	15.00	対長野
少年女子	近的	神奈川県選抜		予選敗退		13中
	遠的			予選敗退		64点
天皇杯順位及び得点				22位	25.00	
皇后杯順位及び得点				21位	10.00	

24 【ライフル射撃】

種別	種目等	氏名	所属	順位	得点	記録等
成年男子	50mライフル三姿勢	荒井陽文	慶應義塾大学	3位	6.00	435.5
	50mライフル立射 (40発)			1位	8.00	379
	10mエア・ライフル (60発)	ギャンビルウリアム海音	立教大学	予選敗退		608.7
	25mセンター・ファイア・ピストル (60発)	久松慶太	神奈川県警察	2位	7.00	773
25mセンター・ファイア・ピストル (30発)	4位			5.00	285	
成年女子	10mエア・ライフル立射 (60発)	一ノ渡 桜	アマノ	8位	1.00	121.9
成年	MIX成年10mエア・ライフルミックス	ギャンビル、一ノ渡		8位	1.00	616.6
少年女子	10mエア・ライフル (60発)	吉野百美	英理女子学院高等学校	6位	3.00	162.7
	10mエア・ライフル (30発)			8位	1.00	121.1
		ビーム・ライフル (60発)	高橋京那	英理女子学院高等学校	予選敗退	
天皇杯順位及び得点				8位	42.00	
皇后杯順位及び得点				18位	15.00	

25 【剣道】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
成年男子		神奈川県選抜 (織口、重黒木、真田、野村、小山)		5位	12.50	対東京
成年女子		神奈川県選抜 (赤松、諸岡、高橋)		3位	18.00	対東京
少年男子		神奈川県選抜		1回戦敗退		対北海道
少年女子		神奈川県選抜		1回戦敗退		対熊本
天皇杯順位及び得点				8位	40.50	
皇后杯順位及び得点				7位	28.00	

26 【スポーツクライミング】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
成年男子	リード	神奈川県選抜		予選敗退		
	ボルダー			予選敗退		
少年男子	リード	神奈川県選抜 (濱田、仲田)		1位	24.00	
	ボルダー			1位	24.00	
天皇杯順位及び得点				6位	58.00	
皇后杯順位及び得点				15位	10.00	

27 【カヌー】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等	
成年男子	SL K-1	15ゲート	齋藤徹平	県立橋本高等学校	2位	7.00	73.47
		25ゲート			3位	6.00	94.63
	WW K-1	スプリント	平岩達樹	Trigger	1位	8.00	37" 37
		1500m			2位	7.00	5' 43" 43
成年女子	SL K-1	15ゲート	小野澤 嶺	勇志国際高等学校	3位	6.00	82.45
		25ゲート			3位	6.00	111.69
少年男子	SP K-1	200m	原口獅心	陸上自衛隊高等工科大学	準決勝敗退		41" 918
		500m			準決勝敗退		1' 55" 952
	SP C-1	200m	新岡真輝斗	陸上自衛隊高等工科大学	9位		46" 894
		500m			準決勝敗退		2' 16" 196
天皇杯順位及び得点				14位	50.00		
皇后杯順位及び得点				24位	22.00		

28 【アーチェリー】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
少年男子		神奈川県選抜 (渡邊、谷本、海津)		4位	15.00	対鹿児島
少年女子		神奈川県選抜		予選敗退		1535
天皇杯順位及び得点				11位	25.00	
皇后杯順位及び得点				14位	10.00	

29 【空手道】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
成年男子	組手	軽量級	今井 太一朗	法政大学	2回戦敗退	対京都
		中量級	伊藤 颯輝	シモハナ物流	2回戦敗退	対広島
		重量級	三川 弦大	法政大学	2回戦敗退	対岡山
成年女子	形	小山 呼汰朗	国士館大学	2回戦敗退	対宮城	
	組手	原田 明莉	国士館大学	1回戦敗退	対大分	
	形	関澤 愛莉	駒澤大学	2回戦敗退	対島根	
少年男子	組手	宮崎 聖光	横浜創学館高等学校	2回戦敗退	対静岡	
少年女子	組手	陶山 幸来	横浜創学館高等学校	1回戦敗退	対鹿児島	
	組手	団体	神奈川県選抜	3回戦敗退	対東京	
天皇杯順位及び得点				32位	10.00	
皇后杯順位及び得点				21位	10.00	

30 【銃剣道】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
成年男子			神奈川県選抜	2回戦敗退		対静岡
少年男子			神奈川県選抜(志賀、馬場、前川)	7位	6.00	対島根
天皇杯順位及び得点				11位	16.00	

31 【なぎなた】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
成年女子	演技		神奈川県選抜	1回戦敗退		対福井
	試合			2回戦敗退		対茨城
少年女子	演技		神奈川県選抜(戸田、前田、鶴見)	2回戦敗退		対沖縄
	試合			2位	21.00	対東京
天皇杯順位及び得点				9位	31.00	
皇后杯順位及び得点				9位	31.00	

32 【ボウリング】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
成年女子	個人戦	高田 真帆	大安興業	予選敗退		1048
		畑 琴音	CIZA DINING&BAR	予選敗退		1011
		菅野 沙織	ミキハウス	予選敗退		1045
		中森 麻衣	厚木ブラザボウル	予選敗退		1107
	団体戦	2人チームA	中森、菅野	前掲	5位	12.00
2人チームB		高田、畑	前掲	8位	3.00	2106
4人チーム		中森、高田、畑、菅野		予選敗退		1832
少年男子	個人戦	彦田 晃嗣	県立住吉高等学校	予選敗退		1095
		滝沢 樹	湘南工科大学附属高等学校	予選敗退		1111
	団体戦	2人チーム	彦田、滝沢	前掲	2位	21.00
少年女子	個人戦	網代 羅夢	県立大和東高等学校	4位	5.00	1600
		細井 葉月	県立大師高等学校	予選敗退		938
	団体戦	2人チーム	網代、細井	前掲	2位	21.00
天皇杯順位及び得点				4位	72.00	
皇后杯順位及び得点				4位	51.00	

33 【ゴルフ】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
成年男子			神奈川県選抜(小田、三橋、竹原)	8位	1.50	432
女子			神奈川県選抜(田村、伊藤、坪井)	8位	1.50	448
天皇杯順位及び得点				17位	13.00	
皇后杯順位及び得点				8位	11.50	

34 【トリアスロン】

種別	種目等	選手名	所属	順位	得点	記録等
成年男子		長谷川 大翔	東海大学	12位		1:52'55
		出口 陽也	jyu-ken	40位		2:00'50
成年女子		関口 はるか	日本体育大学	9位		2:05'20
		油井 あまね	野田市立川間中学校	13位		2:06'46
天皇杯順位及び得点				13位	10.00	
皇后杯順位及び得点				8位	10.00	

第79国民スポーツ大会総合成績(冬季大会を含む)

男女総合成績(天皇杯)	6位	1505.5
女子総合成績(皇后杯)	8位	790.0

神奈川県高等学校体育連盟 令和7年度活動報告

神奈川県高等学校体育連盟

理事長 小坂 茂生

1 令和7年度全国高等学校総合体育大会 「開け未来の扉 中国総体2025」

「輝け君の青春 刻め努力の軌跡」をスローガンに、令和7年度全国高等学校総合体育大会は7月23日から8月20日まで、広島県、鳥取県、島根県、岡山県、山口県、北海道、福島県、和歌山県で開催されました。7月24日には、広島県立総合体育館で開会式が行われ、東海大学付属相模高校陸上競技部の生徒と本県役員がプラカードと共に入場行進を行いました。

本県からは、選手840名、役員178名、計1,018名の選手団が参加し、夢を追いかける神奈川県の高校生アスリートたちは持てる力を十分に発揮しました。その輝かしい活躍を紹介いたします。

陸上競技女子400mハードルでは法政第二高校のガードナ・レイチェル・麻由選手が、今期の高校ランク1位のタイムを約1秒短縮する58秒16という好タイムで優勝。更に、国民スポーツ大会300mハードルでも優勝し二冠を達成しました。また、東海大学付属相模高校の江口美玲選手は、7種目中3種目でトップに立つ活躍で過酷な7種競技を制し、「2025インターハイのクイーン・オブ・アスリート」となり高い万能性を示しました。

水泳競技では日大藤沢高校勢の活躍が光りました。女子では石川真菜選手が100m平泳ぎと200m個人メドレーの2冠を達成。また、女子400mフリーリレーでもチーム一丸となって優勝。学校対抗では、個人の強さと固いチームワークで総合2位という輝かしい成績を収めました。更に、男子400m個人メドレーでは桐光学園高校の田中駿選手が優勝しました。

体操競技個人総合では星槎国際高校横浜の山口幸空選手が、予選8位から大逆転の優勝という結果を収め、得意のゆかでも1位に輝きました。オリンピックや世界選手権という大きな目標に向け、期待できるインターハイとなりました。

卓球では星槎国際高校横浜が大活躍でした。男女のダブルスで、男子は川上流星選手・伊藤佑太選手ペア、女子は牧野美玲選手・櫻井花選手ペアが揃って優勝。また、男子シングルス決勝では、ダブルス優勝ペアによる星槎対決となり、川上選手が優勝、伊藤選手が準優勝という結果を収めました。さらに女子団体優勝という輝かしい成績を残しました。

女子ソフトボール決勝は県立厚木王子高校の不屈の精神が光りました。2対2で突入した延長タイブレーク。8回表に1点を先行されるピンチから、その裏の攻撃で見事に2点を奪い返し、サヨナラ勝利。県立厚木商業高校時代の決してあきらめない強い心と固い絆は新校にも受け継がれ、通算9回目の優勝という栄冠をつかみました。

柔道では、東海大学附属相模高校の三ツ石恵翔選手が男子79kg級決勝を僅差で制し、桐蔭学園高校の織茂永愛選手は女子63kg級決勝を一本勝ちという鮮やかな勝利で頂点に立ちました。更に桐蔭学園高校は女子団体戦でも準優勝に輝き、高校柔道の強豪としての存在感を示しました。

テニス男子団体は、湘南工科大附属高校が準決勝、決勝と厳しい試合を2対1で競り勝ち、昨年度インターハイに引き続き連覇を達成しました。プレッシャーの中で発揮される高い集中力と固いチームワークは今年も健在でした。

ヨット男子ILCA6級では鎌倉学園高校の遠藤海之流選手が、自然と一体となり、風を操り優勝。このクラスは一人乗りの小型ヨットでオリンピック種目でもあります。

優勝者を中心に紹介しましたが、840名の選手たちはインターハイの大舞台で神奈川県代表としての誇りを胸に、そして関わる全ての人たちを大切に思うことを忘れずに、熱く爽やかに力を尽くしました。



令和7年度全国高等学校総合体育大会優勝・準優勝の選手たちが県庁表敬訪問を行いました。

2 令和7年度全国高等学校定時制通信制体育大会

令和7年度全国高等学校定時制通信制体育大会は、8月3日から23日まで東京都、神奈川県、静岡県で開催されました。

本県からは、選手282名、役員63名、計345名の選手団が参加し、夢を追いかける神奈川県の高校生アスリートたちは、その持てる力を十二分に発揮しました。その輝かしい記録を紹介いたします。

定時制・通信制の全国大会では、県立横浜修悠館高校横須賀がバレーボール男子、剣道男子、柔道男子の団体3種目制覇という偉業を達成しました。バレーボール男子では1回戦から決勝戦まで1セットも落さず、完全勝利を果たしました。また、剣道男子、柔道男子も相手を寄せ付けず、その強さを示しました。サッカーでは、日々輝学園高校横浜が1回戦から「諦めないサッカー」を展開し、決勝戦は8人目でPK戦を制するという選手の強い心と固い絆で劇的な勝利を収めました。自転車競技では、星槎国際高校横浜がチームスプリントとロードチームで2冠を達成しました。

個人競技では、柔道男子の大枝玄侍選手（県立横浜修悠館高校横須賀）、自転車競技の野村将大選手（県立神奈川総合産業高校）が頂点を極めました。

282名の選手たちは、日々の努力と困難を乗り越え、熱く清々しい心で力を尽くしました。



令和7年度全国高等学校定時制通信制体育大会優勝・準優勝の選手たちが県庁表敬訪問を行いました。

令和7年度全国高等学校総合体育大会(入賞者)

競技名	性別	種目名 順位	氏名	学校名
陸上競技	男子	400m 3位	高橋 千尋	県港北
		110mH 3位	村上祥太郎	相 洋
		4×100m R 8位	県保土ヶ谷	
		4×400m R 2位 (高校新記録)	相 洋	
	女子	1500m 2位	アカイ・メアリー	白鵬女子
		3000m 2位	アカイ・メアリー	白鵬女子
		400mH 1位	ガートナ・レイチェル・麻由	法政二
		4×100m R 7位	東海大相模	
		4×400m R 6位	相 洋	
		4×400m R 8位	東海大相模	
		走高跳 2位	鴨田 るな	東海大相模
		砲丸投 7位	早乙女美月	市 橘
		七種競技 1位	江口 美玲	東海大相模
		七種競技 3位	岡田 紗和	法政二
水泳	男子	50m自由形 3位	山田 将大	湘南工科大附
		100m自由形 3位	鈴木 蓮波	日大高
		100m自由形 6位	山田 将大	湘南工科大附
		200m自由形 3位	鈴木 蓮波	日大高
		200m自由形 7位	横田 赳大	慶應義塾
		400m自由形 2位	田中 駿	桐光学園
		200m平泳ぎ 2位	齋藤 龍	慶應義塾
		200m背泳ぎ 6位	西村 光愷	慶應義塾
		400m個人メドレー 1位	田中 駿	桐光学園
		400m個人メドレー 7位	井上 亮	桐光学園
		4×100mフリーリレー 4位	日大藤沢	
		4×200mフリーリレー 6位	桐光学園	
		4×100mメドレーリレー 2位	慶應義塾	
		4×100mメドレーリレー 8位	日大藤沢	
		学校対抗 8位	慶應義塾	
		3m飛板飛び込み 7位	猿田 煌大	横浜隼人
	高飛び込み 4位	猿田 煌大	横浜隼人	
	学校対抗 6位	横浜隼人		
	女子	50m自由形 4位	谷口満里奈	日大藤沢
		100m自由形 3位	佐々木悠乃	日大藤沢
		100m自由形 5位	谷口満里奈	日大藤沢
		200m自由形 6位	佐々木悠乃	日大藤沢
		100m平泳ぎ 1位	石川 真菜	日大藤沢
		100m背泳ぎ 4位	鈴木 結蘭	日大高
		100m背泳ぎ 5位	中野 礼依	日大藤沢
		200m背泳ぎ 3位	鈴木 結蘭	日大高
		100mバタフライ 5位	古賀 華泳	三浦学苑
		200m個人メドレー 1位 (大会新記録)	石川 真菜	日大藤沢
		400m個人メドレー 8位	根岸 空希	湘南工科大附
		4×100mフリーリレー 1位	日大藤沢	
		4×200mフリーリレー 6位	日大藤沢	
		4×100mメドレーリレー 2位	日大藤沢	
		学校対抗 2位	日大藤沢	
3m飛板飛び込み 4位		八木 星輝	県相模原弥栄	
高飛び込み 2位		八木 星輝	県相模原弥栄	
学校対抗 3位	県相模原弥栄			
バレーボール	女子	5位	横浜隼人	

競技名	性別	種目名 順位	氏名	学校名	
体操	女子	団体総合 2位	星槎横浜		
		個人総合 1位	山口 幸空	星槎横浜	
		個人総合 8位	紺田 希香	白鵬女子	
		跳馬 2位	紺田 希香	白鵬女子	
		平均台 2位	紺田 希香	白鵬女子	
		平均台 3位	山口 幸空	星槎横浜	
		段違い平行棒 5位	山口 幸空	星槎横浜	
		ゆか 1位	山口 幸空	星槎横浜	
新体操	男子	団体総合 5位	光明相模原		
		個人総合 7位	岩崎 彪雅	光明相模原	
		クラブ 5位	岩崎 彪雅	光明相模原	
ハンドボール	男子	2位	法政二		
相撲	男子	団体 8位	旭 丘		
卓球	男子	シングルス 1位	川上 流星	星槎横浜	
		シングルス 2位	伊東 佑太	星槎横浜	
		ダブルス 1位	川上 流星	星槎横浜	
			伊東 佑太		
	女子	団体 1位	星槎横浜		
		ダブルス 1位	櫻井 花 牧野 美玲	星槎横浜	
ソフトボール	女子	1位	県厚木王子		
柔道	男子	団体 5位	東海大相模		
		66kg級 3位	木原 誠登	東海大相模	
		73kg級 1位	三ツ石恵翔	東海大相模	
		100kg級 5位	伊藤 志竜	東海大相模	
		100kg超級 5位	井上 大智	東海大相模	
	女子	団体 2位	桐蔭学園		
		57kg級 5位	北島 侑紗	桐蔭学園	
		63kg級 1位	織茂 永愛	桐蔭学園	
		70kg級 5位	森野 千春	桐蔭学園	
		弓道	男子	個人 3位	大山 知勇虎
テニス	男子	団体 1位	湘南工科大附		
		シングルス 2位	奈良 恒輝	湘南工科大附	
		ダブルス 2位	松村 玲	湘南工科大附	
	名雪 楽工				
	女子	団体 5位	白鵬女子		
		シングルス 5位	内藤 悠香	湘南工科大附	
ローイング	男子	舵手つきクォドルプル 3位	小澤 武瑠 奥山 朝哉 三浦 慎史 梅澤 拓磨 片山 心平	市横浜商	
ボクシング	男子	ピン級 5位	吉井 康介	武 相	
		ウェルター級 5位	岡部 惇	浅 野	
レスリング	男子	65kg級 5位	長沼 一汰	慶應義塾	
ヨット	男子	420級 7位	大桃 悠汰	慶應義塾	
			小川 琉慳		
			鈴木 洋輔		
			矢澤 琉伊		
			ILCA6級 1位	遠藤海之流	鎌倉学園
			ILCA6級 2位	加原 弦季	関東六浦
			ILCA6級 6位	若鍋 雄大	県横浜国際
			コンバインド 5位	逗子開成	
女子	ILCA6級 8位	岩波 萌夏	I D学園		

競技名	性別	種目名 順位	氏名	学校名
フェンシング	男子	学校対抗 5位	法政二	
	女子	サーブル 2位	孫 櫻珊	慶應藤沢
ウェイトリフティング	男子	55kg級トータル 3位	若林 玲希	日大藤沢
		81kg級トータル 4位	都築 陽斗	日大藤沢
		89kg級トータル 6位	鈴木 太朗	法政二
		96kg級トータル 7位	大桃 洸人	日大藤沢
アーチェリー	男子	団 体 4位	市横須賀総合	
		個 人 8位	渡邊 光希	星槎湘南
自転車競技	男子	4km速度競走 6位	滝口 敬司	県保土ヶ谷
		4kmチーム・パーシュート 5位	滝口 敬司	県保土ヶ谷
			川野 鷹	
			相澤 虹詩	
空手道	男子	個人組手 5位	小林蔵之助	横浜創学館
		個人形 4位	島ノ江亜琉	横浜創学館
	女子	個人組手 2位	出嶋 美月	横浜創学館
ライフル射撃	女子	A R団体 6位	英理女子	
		B R団体 7位	英理女子	
カヌー	男子	カヌースプリント・カナディアンペア (200m) 2位	佐々木煌史	県横浜修悠館横須賀
			新岡真輝斗	

令和7年度全国高等学校定時制通信制体育大会(入賞者)

競技名	性別	種目名	氏名	学校名
陸上競技	男子	100m 7位	朝比奈勇氣	日々輝横浜
		400m 2位	丹羽 紘斗	県厚木清南(定)
		800m 5位	丹羽 紘斗	県厚木清南(定)
		400mH 2位	柴山 捷	市川崎
		走高跳 3位	佐々木結翔	市横須賀総合
	女子	100m 5位	村松 碧	星槎横浜
		200m 3位	村松 碧	星槎横浜
		4×100m R 2位	高橋 夢歩	市 橋
			村松 碧	星槎横浜
			秋田 すず	科技高大和
走幅跳 4位	田島 杏菜	市川崎		
走幅跳 7位	本校 滯	星槎横浜		
高橋 夢歩	市 橋			
バレーボール	男子	1位	県横浜修悠館横須賀	
バスケットボール	女子	5位	市横浜総合	
			県横浜明朋	
ソフトテニス	男子	団 体 2位	県横浜修悠館横須賀	
		個 人 5位	秋吉 悠杜	県横浜修悠館横須賀
	女子	個 人 5位	伊藤 天煌	
			神田 亜子	
バドミントン	男子	団 体 2位	神奈川県A	
		個 人 5位	出口 颯太	市横浜総合
		個 人 5位	田中 大陸	秀 英
	女子	団 体 3位	神奈川県A	
サッカー	男子	1位	日々輝横浜	
		5位	日々輝神奈川	
		5位	県相模向陽館	
剣道	男子	団 体 1位	神奈川県A	
		個 人 5位	西郊 良海	市横浜総合
		個 人 5位	増田青士郎	県横浜修悠館横須賀

競技名	性別	種目名	氏名	学校名	
柔道	男子	団体 1位	神奈川県A		
		65kg級 3位	宮崎 日向	県横浜修悠館横須賀	
		75kg級 2位	樋口 留生	県横浜修悠館横須賀	
		90kg級 1位	大枝 玄侍	県横浜修悠館横須賀	
		90kg級 2位	増田 龍人	県横浜修悠館横須賀	
自転車競技	男子	1kmタイムトライアル 2位	宇佐美太賀	星槎横浜	
		1kmタイムトライアル 4位	相原 一陽	星槎横浜	
		1kmタイムトライアル 6位	野村 将大	県神奈川総合産業	
		1kmタイムトライアル 7位	熊谷 莉玖	星槎横浜	
		3kmインテイクアルパ-シュート 1位	野村 将大	県神奈川総合産業	
		3kmインテイクアルパ-シュート 2位	相原 一陽	星槎横浜	
		3kmインテイクアルパ-シュート 8位	梅澤 宏明	星槎横浜	
		4km速度競走 2位	宇佐美太賀	星槎横浜	
		4km速度競走 3位	熊谷 莉玖	星槎横浜	
		4km速度競走 4位	石田 龍斗	県神奈川総合産業	
		4km速度競走 8位	大森 真也	県神奈川総合産業	
		チームスプリント 1位	相原 一陽	星槎横浜	
			梅澤 宏明		
			宇佐美太賀		
		チームスプリント 3位	大森 真也	県神奈川総合産業	
			野村 将大		
			石田 龍斗		
		トラック総合 1位	星槎横浜		
		トラック総合 2位	県神奈川総合産業		
		ロード個人 4位	相原 一陽	星槎横浜	
		ロード個人 5位	熊谷 莉玖	星槎横浜	
		ロードチーム 1位	熊谷 莉玖	星槎横浜B	
			岩名 智也		
		ロードチーム 3位	相原 一陽	星槎横浜A	
			野村 将大		
			宇佐美太賀		
		ロードチーム 6位	大森 真也	県神奈川総合産業	
			野村 将大		
			石田 龍斗		
		ロード総合 1位	星槎横浜		
ロード総合 5位	県神奈川総合産業				
学校対抗 1位	星槎横浜				
学校対抗 3位	県神奈川総合産業				
軟式野球	男子	5位	日々輝神奈川		

神奈川県中学校体育連盟 令和7年度活動報告

神奈川県中学校体育連盟
理事長 安藤 信二

1 第59回神奈川県中学校総合体育大会（県中総体）

横須賀ブロックを主会場とし、7月27日に横須賀市総合体育会館で行われた総合開会式を皮切りに、8月2日までの7日間にわたり熱戦が繰り広げられました。16種目に県内8ブロックの厳しい地区予選を勝ち抜いた約16,000名の選手たちが、大会スローガン「青い海 緑の大地に生まれ みんなの夢は今叶う」のもと、最後まであきらめずに力の限り競技を行いました。近年の暑熱環境下の中での大会となり、今年度も大会参加者に熱中症対策を講じた上での実施となりました。また、7月30日にカムチャッカ半島で起きた地震による津波の影響で一部競技を中止にし、避難することになりましたが、運営する専門部・地区の先生方や各施設のスタッフ、近隣小学校等の協力により参加者全員が無事に避難することができました。ご協力に改めて感謝いたします。そのような中、大きな事故なく期間内で夏季大会を終了することができました。

陸上競技は、10月4日にレモンガススタジアム（平塚市）で、駅伝競走大会は、11月1日に横浜八景島・海の公園周回コース（横浜市）で開催し、令和7年度の神奈川県中学校総合体育大会も無事終了することができました。

2 関東中学校体育大会

関東ブロック1都7県（東京都・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・山梨県・神奈川県）の各会場で夏季16種目17競技が開催されました。神奈川県代表選手たちが、積み重ねてきたこれまでの努力を余すことなく発揮し、それぞれの競技ですばらしい試合を繰り広げました。

神奈川県おきましては、サッカー、バドミントンの2種目が開催されました。サッカーは横浜市教育委員会、神奈川県サッカー協会等のご協力のもと、8月6日横浜市港北公会堂にて開会式を行い、ニッパツ三ツ沢球場を中心とした会場で8月9日までの4日間開催しました。バドミントンは小田原市教育委員会、神奈川県バドミントン協会等のご協力のもと、小田原アリーナにて8月7日からの開会式を皮切りに8月9日までの3日間競技が行われました。その他の都県で実施されました大会においても、白熱した好試合・好成績が生まれ、多くのチームや個人が神奈川県代表として全国大会への切符をつかむことができました。また、来年度の関東中学校体育大会神奈川県開催種目は、卓球（秦野市）ソフトボール（相模原市）となっております。今後も選手たちが力を発揮できるように、大会開催にむけて準備を行っていきます。

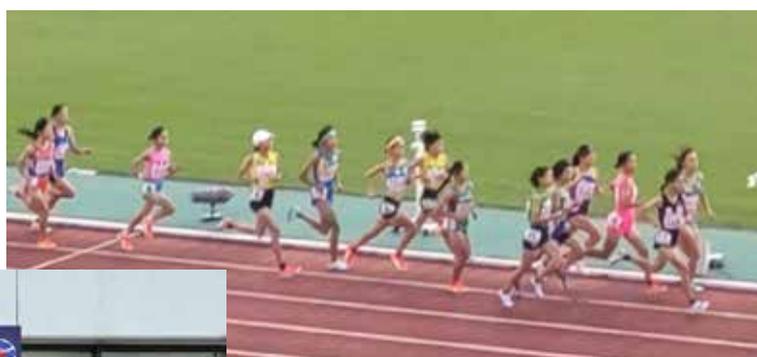
3 全国中学校体育大会

令和7年度の全国中学校体育大会は、九州ブロックで開催され、8月17日から25日までの9日間で、16種目の夏季大会が行われました。

神奈川県からは、団体競技に13チーム、個人競技に10種目に多くの選手が参加し、県代表としてもてる力を十分に発揮し、たくさんの成果を得るとともに多くの感動を人々に与えました。団体では、剣道女子団体で横浜市立潮田中学校が優勝、個人では、陸上競技で四種競技、女子800m、水泳競技で女子200m背泳ぎ、体操競技で女子個人、女子ゆか、卓球で男子個人がそれぞれ優勝を果たしました。

また、今後冬季種目が開催されます。本県では選手選考や選手強化において公益財団法人神奈川県スキー連盟、神奈川県スケート連盟、神奈川県アイスホッケー連盟にご協力をいただき、県中体連本部で冬季種目選手団を編成し、参加をしております。

令和7年度の大会報告にあたり、開催地教育委員会、各競技団体等多くの関係者のみなさまのご理解ご支援により大会が開催できましたことに、深く感謝を申し上げます。



全国中学校体育大会陸上競技



全国中学校体育大会相撲競技

4 部活動地域展開

現在、地域移行・地域展開に向けて、令和5年度より、地域クラブの大会参加をすすめ、今年度は256クラブが登録をしています。

国は、令和5年から7年までを「改革推進期間」として休日の部活動を段階的に移行をする取組をすすめてきました。改革推進期間の最終年である今年度の12月に「総合的なガイドライン」を改訂する予定です。その中で「地域移行」から「地域展開」への名称の変更や、次年度から6年間の「改革実行期間」を設けることと定められました。部活動は、学級や学年の枠を越え、生徒たちが自主的・自発的に行う活動であり、スポーツや文化芸術活動等に親しむことで、個性の伸長、自主性や協調性、責任感、連帯感などが養われ、好ましい人間関係の形成にも資するものです。神奈川県中学校体育連盟としても、今後も生徒たちの一生懸命の取組を共有し、発表できる場でもある総合体育大会を運営する活動を続けていきたいと考えております。

令和7年度 第59回 神奈川県中学校総合体育大会種目別競技成績

横須賀ブロック開催

		第1位	第2位	第3位	第4位	備考
陸上競技	男子	中和田 (横浜)	塚越 (川崎)	鵜沼 (湘南)	宮前平 (川崎)	
	女子	鵜沼 (湘南)	横浜田奈 (横浜)	市場 (横浜)	南林間 (県央)	
	総合	鵜沼 (湘南)	横浜田奈 (横浜)	塚越 (川崎)	南林間 (県央)	
水泳競技	男子	橘 (川崎)	南毛利 (県央)	久里浜(横須賀)・芹が谷(横浜)・慶応普通部(横浜)		
	女子	稲田 (川崎)	つきみ野 (県央)	六角橋 (横浜)	西高津 (川崎)	
	総合	稲田 (川崎)	橘 (川崎)	六角橋 (横浜)	江陽 (中)	
バスケットボール	男子	山内 (横浜)	有馬 (川崎)	岩崎(横浜)・南希望が丘(横浜)同率3位		
	女子	相模女子中 学部 (相模原)	瀬谷 (横浜)	葉山(横須賀)・十日市場(横浜)同率3位		
サッカー	男子	サレジオ学 院 (横浜)	藤ヶ岡 (湘南)	大楠(横須賀)・宮崎(川崎)同率3位		
ハンドボール	男子	生田アンドパルジュ ニアユース (川崎)	湘南学園 (湘南)	向丘 (川崎)	西中原 (川崎)	
	女子	生田アンドパルジュ ニアユース (川崎)	中川西 (横浜)	中田 (横浜)	生田 (川崎)	
軟式野球	男子	市場 (横浜)	鎌倉学園 (湘南)	谷口 (相模原)	相模TKS (相模原)	
体操	男子	豊田 (横浜)	東海大相模 (相模原)	久里浜 (横須賀)	宮前平 (川崎)	
	女子	上の宮 (横浜)	西中原 (川崎)	豊田 (横浜)	国府 (中)	
新体操	男子	西中原 (川崎)				
	女子	太洋 (中)	西中原 (川崎)	宮前平 (川崎)	捜真女学校 中学部 (横浜)	
バレーボール	男子	岡本 県西	早渕 (横浜)	武相 (横浜)	西中原 (川崎)	
	女子	相武台チェリッ シユクラブ (相模原)	塚越 (川崎)	鵜沼 (湘南)	浦賀 (横須賀)	
ソフトテニス	男子	下福田 (県央)	北陽 (湘南)	秦野フレンドリー (中)	西中原 (川崎)	
	女子	相洋 (県西)	綾瀬チャレンジ (県央)	川崎STC (川崎)	東名 (県央)	
卓球	男子	南林間 (県央)	サレジオ学院 (横浜)	万騎が原 (横浜)	宮崎 (川崎)	
	女子	横浜隼人 (横浜)	光丘 県央	万騎が原 (横浜)	寺尾 (横浜)	
バドミントン	男子	AMANOGAWA (中)	法政クラブ (相模原)	横浜白山 (横浜)	豊田 (横浜)	
	女子	法政クラブ (相模原)	横浜白山 (横浜)	橘 (県西)	あざみ野 (横浜)	
ソフトボール	男子	厚木クラブJr (県央)	青山学院横浜英和 (横浜)			
	女子	金沢 (横浜)	南が丘 (横浜)	渡田 (川崎)	萩園 (湘南)	
柔道	男子	東海大相模 (相模原)	平塚柔道協会 (中)	神明 (横須賀)	朝飛道場 (横浜)	
	女子	朝飛道場 (横浜)	神明 (横須賀)	悠友館 (川崎)	平塚柔道協会 (中)	
剣道	男子	東海大相模 (相模原)	都田 (横浜)	潮田 (横浜)	保土ヶ谷 (横浜)	
	女子	潮田 (横浜)	東海大相模 (相模原)	六角橋 (横浜)	川和 (横浜)	
相撲	男子	富士見 (川崎)	小田原相撲連盟 (県西)	稲田 (川崎)	秋葉 (横浜)	
駅伝	男子	成瀬 (中)	富士見 (川崎)	茅ヶ崎第一 (湘南)	塚越 (川崎)	
	女子	松浪 (湘南)	鶉野森 (相模原)	鵜沼 (湘南)	東橘 (川崎)	

令和7年度 関東・全国中学校体育大会 個人 競技成績

神奈川県中学校体育連盟

種目	性	氏名	学校名	県総体	関東大会	全国大会	氏名	学校名	県総体	関東大会	全国大会	
体操競技	男	横山新大	鶴見ジュニア体操クラブ (横浜)	1位	53位		岸本淳志	SRC体操クラブ (相模原)	4位	26位		
		飯田克琉	鶴見ジュニア体操クラブ (横浜)	2位	8位	23位	齋藤駿	東海大相模 (相模原)	5位	35位		
		松本拾登	菅生 (横浜)	3位	12位	24位	三春大和	YSMC体操クラブ (相模原)			個人総合30位	
	女	戸張莉花	星槎 (横浜)	1位	2位	優勝	加藤心々菜	Minotori Sport Club (川崎)	4位	4位	9位	
		小川莉果	星槎 (横浜)	2位	3位	6位	鹿島杏	上の宮 (横浜)			11位	
		阿部由依	鶴見ジュニア体操クラブ (横浜)	3位	1位	7位						
新体操	女	川西優凛羽	白土新体操クラブ (川崎)	1位	12位	個人総合14位	丸木美玖	Tiara RG (相模原)	4位	19位		
		川崎陽菜乃	宮前平 (川崎)	2位	14位		堀江恋	野川 (川崎)	5位	35位		
		豊田伊桜里	Sonnet RG (横浜)	3位	15位							
ソフトテニス	男	堀川・河戸	下福田 (県央)	1位	2回戦		酒井・野崎	北陽 (湘南)	5位	1回戦		
		梯・高橋	大磯 (湘南)	2位	3回戦		荒木・大矢	座間 (県央)	6位	2回戦		
		庄司(真)・庄司(幸)	菅生 (川崎)	3位	4回戦		今枝・角谷	栗原 (県央)	7位	2回戦		
		中新・上坂	浦賀 (横須賀)	4位	3回戦		二船・上田	今泉 (県央)	8位	3回戦		
		水上・後藤	相洋 (県西)	1位	9位	1回戦	渡邊・鈴木	玉縄 (湘南)	5位	2回戦		
		西場・矢田	相洋 (県西)	2位	2回戦		増田・矢作	JOHNNY'S (県央)	6位	2回戦		
	女	那須・遠藤	東名 (県央)	3位	2回戦		新沼・小山	鶴が台 (横浜)	7位	2回戦		
		関野・三枝	相洋 (県西)	4位	2回戦		木原・安西	六会 (湘南)	8位	2回戦		
		大野颯真	星槎 (横浜)	推薦	優勝	優勝	牛尾優斗	池上 (横須賀)	9位	3回戦		
		柴田洸	星槎 (横浜)	推薦		ベスト8	加藤蒼也	リトルキングス (県央)	10位	1回戦		
		沢田琉聖	星槎 (横浜)	1位	ベスト8	1回戦	濱田峻	南林間 (県央)	11位	3回戦		
		深澤健太	松田 (県西)	2位	ベスト16	1回戦	吉野和真	初声 (横須賀)	12位	2回戦		
卓球	男	天野遥空	錦台 (横浜)	3位	3回戦		茂田航季	神田 (中)	13位	2回戦		
		中野聖那	岩崎 (横浜)	4位	3回戦		片山悠希	山手中華 (横浜)	14位	2回戦		
		野々宮圭枝	左近山 (横浜)	5位	ベスト16	1回戦	倉嶋康介	星槎 (横浜)	15位	3位	3回戦	
		平塚太	横濱準人 (横浜)	6位	2回戦		小林右京	星槎 (横浜)	16位	2回戦	準優勝	
		武田陸	相原 (相模原)	7位	1回戦		富田柚	横濱準人 (横浜)	8位	3回戦		
		高橋青葉	星槎 (横浜)	推薦	優勝	ベスト8	坂田光羽	村岡 (湘南)	9位	3回戦		
		瓜生日咲	星槎 (横浜)	推薦	準優勝	準優勝	内田百咲	横濱準人 (横浜)	10位	1回戦		
		村山結来	星槎 (横浜)	推薦	3位	ベスト16	坂本明日菜	井田 (川崎)	11位	1回戦		
		牛島みほろ	横濱準人 (横浜)	1位	ベスト8	2回戦	高田桃花	横濱準人 (横浜)	12位	3回戦		
		飯田莉々花	星槎 (横浜)	2位	ベスト16	2回戦	宮澤真唯	横濱準人 (横浜)	13位	3回戦		
	女	持田桜奏	横濱準人 (横浜)	3位	ベスト16	ベスト8	富澤紗希	相模原中等 (相模原)	14位	1回戦		
		南芹那	星槎 (横浜)	4位	ベスト8	3回戦	小松葵	宮崎 (川崎)	15位	1回戦		
		馬場菜々美	横濱準人 (横浜)	5位	ベスト16	ベスト16	岡部紗和	横濱準人 (横浜)	16位	2回戦		
		武山彩子	横濱準人 (横浜)	6位	ベスト16	2回戦	町田菜々花	光丘 (県央)	17位	1回戦		
		徳永楓奈	横濱準人 (横浜)	7位	3回戦		花沢夏琳	星槎 (横浜)			ベスト16	
		押田典之	つきみ野 (県央)	8位	1回戦							
		男S	高橋日向我	AMANOGAWA (中)	1位	3位	2回戦	松本篤宏	AMANOGAWA (中)	3位	1回戦	
			山上颯太	横濱白山 (横浜)	2位	1回戦		石若陽翔	法政クラブ (相模原)	5位	1回戦	
			大久保心温	法政クラブ (相模原)	3位	1回戦						
			女S	竿田風奏	青葉ジュニアバドミントン (横浜)	1位	1回戦		岡田芽依	金沢 (横浜)	3位	1回戦
湯浅花奏	橘 (県西)			2位	3位	1回戦	永澤果夏	法政クラブ (相模原)	5位	1回戦		
柳下瑠央	横濱白山 (横浜)			3位	1回戦							
男W	市原・西ヶ久保			横濱白山 (横浜)	1位	1回戦		高橋・瀬戸	東高津 (川崎)	3位	ベスト16	
	松山・竹下			法政クラブ (相模原)	2位	ベスト16		武松・瀬戸	東高津 (川崎)	5位	1回戦	
	関口・市川			AMANOGAWA (中)	3位	1回戦						
女W	佐藤・増田			龍見台ジュニア (横浜)	1位	ベスト8		四宮・亀谷	AMANOGAWA (中)	3位	1回戦	
	横田・土橋	法政クラブ (相模原)		2位	1回戦		高瀬・江川	法政クラブ (相模原)	5位	1回戦		
	崎坂・小林	横濱白山 (横浜)		3位	1回戦							
柔道	男	<50kg級>						<73kg級>				
		園田 琉晟	あざみ野 (横浜)	1位	2回戦	1回戦	真田 隼一	平塚柔道協会 (中)	1位	2回戦	1回戦	
		後藤 悠大	はやの柔道クラブ (川崎)	2位	2回戦		大塚 晴斗	東海大相模 (相模原)	2位	準優勝		
		宮田 八雲	平塚柔道協会 (中)	3位	1回戦		富樫 紘史郎	東海大相模 (相模原)	3位			
		<55kg級>					<81kg級>					
		高橋 匡希	東海大相模 (相模原)	1位	準優勝	ベスト8	花井 将輝	東海大相模 (相模原)	1位	優勝	3位	
		寺田 宗太郎	朝飛道場 (横浜)	2位	1回戦		大野 佑心	東海大相模 (相模原)	2位	準優勝		
		重松 遥磨	東海大相模 (相模原)	3位	1回戦		富樫 佑斗	東海大相模 (相模原)	3位	ベスト16		
		<60kg級>					<90kg級>					
		高橋 行希	東海大相模 (相模原)	1位	優勝	ベスト8	梅野 凛太郎	一道館 (川崎)	1位	3位	3位	
	女	北村 晃	朝飛道場 (横浜)	2位	2回戦		石川 大雅	朝飛道場 (横浜)	2位	2回戦		
		井上 遥哉	東横 (川崎)	3位	1回戦		柴山 空	東海大相模 (相模原)	3位	ベスト8		
		<66kg級>					<90kg超級>					
		大柿 恭馬	東海大相模 (相模原)	1位	準優勝	3位	松下 哲樟	東海大相模 (相模原)	1位	ベスト8	2回戦	
		坂井 湊	追浜 (横須賀)	2位	優勝		今里 新汰	朝飛道場 (横浜)	2位	1回戦		
		福山 直義	平塚柔道協会 (中)	3位	3位		井手野 将之亮	厚木 (県央)	3位	2回戦		
		<40kg級>					<57kg級>					
		河野 日菜	青葉柔友会 (横浜)	1位	1回戦	2回戦	勝 愛	悠友館 (川崎)	1位	1回戦	2回戦	
		高橋 瑠帆	秦野西 (中)	2位	1回戦		根岸 愛理	神明 (横須賀)	2位	1回戦		
		<44kg級>					<63kg級>					
森 かんな	朝飛道場 (横浜)	1位	5位	ベスト8	田村 心乙	朝飛道場 (横浜)	1位	準優勝	2回戦			
稲葉 莉央	上溝南 (相模原)	2位	1回戦		幡野 咲菜	弥栄 (相模原)	2位	1回戦				
<48kg級>					<70kg級>							
佐藤 夢	悠友館 (川崎)	1位	3位	ベスト8	上水 実弥美	朝飛道場 (横浜)	1位	3位	2回戦			
小出 怜	神明 (横須賀)	2位	1回戦		鷹木 楠世	朝飛道場 (横浜)	2位	5位				
<52kg級>					<70kg超級>							
新井 海咲	平塚柔道協会 (中)	1位	3位	ベスト16	山田 紗那	一道館 (川崎)	1位	5位	2回戦			
渡邊ひより	悠友館 (川崎)	2位	1回戦		小林 希	秋葉 (横浜)	2位	1回戦				
剣道	男	池田瑞希	潮田 (横浜)	1位	優勝	3回戦						
		秋山瑛大	潮田 (横浜)	2位	2回戦							
		野村来希	都田 (横浜)	3位	2回戦							
		大石翔	東海大相模 (相模原)	4位	1回戦							
		笠井新太	都田 (横浜)	全国大会に参加		ベスト16						
	女	高山華	戸塚 (横浜)	1位	優勝	2回戦						
		高鍋萌	潮田 (横浜)	2位	準優勝	2回戦						
		奥寺遥香	六角橋 (横浜)	3位	1回戦							
		篠原ここね	東海大相模 (相模原)	4位	ベスト8							
		水野大地	富士見 (川崎)	1位	ベスト16							
相撲	男	石渡智貴	横須賀相撲連盟 (横須賀)	2位	2回戦						決勝トーナメント予選リーグ	
		川中子 桜輔	横須賀市相撲連盟 (横須賀)	3位	2回戦						予選リーグ	
		松尾敏大	富士見 (川崎)	4位	2回戦							

令和7年度関東・全国中学校体育大会種目別 団体 競技成績

神奈川県中学校体育連盟

種目	性	学校名	県総体順位	関東大会	全国大会	性	学校名	県総体順位	関東大会	全国大会	
1	陸上競技	男	陸上競技では、種目別、個人選手権方式を採用しているため、団体・総合の成績はない。								
2	水泳競技	男	水泳競技では、地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加の伴い、学校ごとの得点集計を取りやめた。								
3	バスケットボール	男	山内 (横浜)	1位	ベスト8	女	相模女子 (相模原)	1位	優勝	ベスト8	
			川崎有馬 (川崎)	2位	ベスト16		瀬谷 (横浜)	2位	ベスト16		
4	サッカー	男	サレジオ学院 (横浜)	1位	ベスト8	女					
			藤ヶ岡 (湘南)	2位	1回戦						
5	ハンドボール	男	生田アンドバルジュニアユース (川崎)	1位	1回戦	女	生田アンドバルジュニアユース (川崎)	1位	ベスト8		
			湘南学園 (湘南)	2位	1回戦		中川西 (横浜)	2位	1回戦		
6	軟式野球	男	市場 (横浜)	1位	1回戦	女					
			鎌倉学園 (湘南)	2位	1回戦						
7	体操	男	豊田 (横浜)	1位	9位	女	上の宮 (横浜)	1位	12位		
			東海大相模 (相模原)	2位	14位		西中原 (川崎)	2位	14位		
8	新体操	男	西中原 (川崎)	1位		女	太洋 (中)	1位	7位		
							西中原 (川崎)	2位	14位		
							宮前平 (川崎)	3位	21位		
							捜真女学校 (横浜)	4位	24位		
9	バレーボール	男	岡本 (県西)	1位	2回戦	女	相武台チャレンジ (相模原)	1位	2回戦		
			早渕 (横浜)	2位	1回戦		塚越 (川崎)	2位	1回戦		
			武相 (横浜)	3位	2回戦		鶴沼 (湘南)	3位	ベスト8		
			西中原 (川崎)	4位	1回戦		浦賀 (横須賀)	4位	2回戦		
10	ソフトテニス	男	下福田 (県央)	1位	2回戦	女	相洋 (県西)	1位	4位	1回戦	
			北陽 (湘南)	2位	1回戦		綾瀬チャレンジ (県央)	2位	3回戦		
			秦野フレンドリー (中)	3位	1回戦		川崎STC (川崎)	3位	1回戦		
			西中原 (川崎)	4位	1回戦		東名 (県央)	4位	2回戦		
11	卓球	男	南林間 (県央)	1位	3位	予選リーグ2位	女	横浜隼人 (横浜)	1位	3位	決勝トーナメント2回戦
			サレジオ学院 (横浜)	2位	代表トーナメント1回戦	光丘 (県央)		2位	5位	予選リーグ2位	
			万騎が原 (横浜)	3位	代表トーナメント1回戦	万騎が原 (横浜)		3位	代表トーナメント1回戦		
			宮崎 (川崎)	4位	代表トーナメント1回戦	寺尾 (横浜)		4位	代表トーナメント1回戦		
12	バドミントン	男	AMANOGAWA (中)	1位	2回戦	女	法政クラブ (相模原)	1位	2回戦		
			法政クラブ (相模原)	2位	2回戦		横浜白山 (横浜)	2位	1回戦		
			横浜白山 (横浜)	3位	2回戦		あざみ野 (横浜)	3位	2回戦		
			豊田 (横浜)	3位	1回戦		橘 (県西)	3位	1回戦		
			金沢 (横浜)	5位	1回戦		能見台ジュニア (横浜)	5位	1回戦		
13	ソフトボール	男	厚木クラブJr (県央)	1位	準優勝	3位	女	金沢 (横浜)	1位	3位	1回戦
			青山学院横浜英和 (横浜)	2位	1回戦			南が丘 (横浜)	2位	1回戦	
14	柔道	男	東海大相模 (相模原)	1位	3位	5位	女	朝飛道場 (横浜)	1位	準優勝	ベスト16
			平塚柔道協会 (中)	2位	1回戦			神明 (横須賀)	2位	1回戦	
			神明 (横須賀)	3位	2回戦			悠友館 (川崎)	3位	3位	
			朝飛道場 (横浜)	3位	1回戦						
15	剣道	男	東海大相模 (相模原)	1位	準優勝		女	潮田 (横浜)	1位	優勝	優勝
			都田 (横浜)	2位	ベスト8			東海大相模 (相模原)	2位	3位	
			潮田 (横浜)	3位	優勝	3位		六角橋 (横浜)	3位	予選リーグ	
			保土ヶ谷 (横浜)	4位	予選リーグ			川和 (横浜)	4位	予選リーグ	
			富士見 (川崎)	5位	ベスト16			戸塚 (横浜)	5位	予選リーグ	
			浜岳 (中)	6位	予選リーグ			滝の沢 (湘南)	6位	予選リーグ	
16	相撲	男	富士見 (川崎)	1位	ベスト8	ベスト32	女				
			小田原相撲連盟 (県西)	2位	ベスト16						
			稲田 (川崎)	3位	2回戦						
			秋葉 (横浜)	4位	ベスト16						
17	駅伝競走 11月1日 (土)に実施	男	成瀬 (中)	1位			女	松浪 (湘南)	1位		
			富士見 (川崎)	2位				鶴野森 (相模原)	2位		
			茅ヶ崎第一 (湘南)	3位				鶴沼 (湘南)	3位		
			塚越 (川崎)	4位				東橋 (川崎)	4位		

神奈川県小学校体育研究会 令和7年度活動報告

神奈川県小学校体育研究会

会長 鹿島 哲夫

神奈川県小学校体育研究会は、100名を超える神奈川県内の公立小学校の校長・副校長・教頭・教諭により構成され、子どもの資質・能力の育成を目指した小学校における体育科指導の充実、教職員の授業力向上のあり方を追究している教育研究組織です。

本会では、年間に総会、役員・理事会、研究委員会などを開催し、研究の方向性の確認、大きな行事開催に向けた準備などを進めています。それらの会は、体育科指導の課題についての情報交換の機会にもなっています。今年度の各種会議では水泳指導のあり方が話題になりました。小学校で実施する水泳指導は、昨今の猛暑に加え、プールの老朽化が進んでいる小学校が多いため、安全で円滑な水泳指導の実施に苦慮している実態がありますが、こうした情報交換が、各小学校の教育活動の取り組みに役立っています。

本会のもっとも大きな取組は「神奈川県小学校児童体力づくり研究発表大会」兼「神奈川県小学校体育研究協議大会」の主催です。神奈川県内の体育科研究において顕著な功績をあげた小学校や教員の表彰、神奈川県教育委員会による体育科指導にかかわる最新情報の提供などともに、様々な体育科授業の実践にもとづく研究協議を行っています。

子どもたち一人一人の将来を見据えると、様々な能力や体力を身につけさせたり、向上させたりすることが必要です。とりわけ、子どもの体力低下は大きな課題になっています。このような状況があるため、これまでの大会でも「思考をはたらかせてねばり強く課題を解決する子どもをめざして～一人一人に応じた指導方法の工夫～」 「児童が自発的・自主的に取り組む体育学習～共生体育の視点を通して～」 「課題解決に向けて協働し、運動することの楽しさを味わえる授業づくり」 などといったテーマにより授業実践提案、研究協議を進めてきました。4つの分科会により進める研究協議では「子どもたちが達成感を得られる授業になっていたのか」「子どもが自分の学習を決めることが大切」など、各授業の成果や課題に目を向けながら、参加教員の学びを深めています。こうした取り組みからも、現在の小学校教育において、子どもが運動する楽しさを味わえるようにする事とともに、子どもたち一人ひとりの友だちとのつながりを通し主体的に課題を解決する力の育成を重視していることがお分かりいただけるのではないかと思います。今年度は「現在・未来を見据え、子どもの資質・能力の育成をめざす体育学習のあり方」をテーマに研究活動を進めており、令和8年2月19日に「第66回神奈川県小学校体育研究協議大会・第60回神奈川県小学校児童体力づくり研究発表大会」を開催します。

社会の発展や成長に、学校教育の充実は欠かせません。今後も、体育科教育を柱としながら次代を担う子どもたちの豊かな学び、健やかな成長に寄与できるよう努めてまいります。



研究協議会の様子

令和7年度神奈川県スポーツ少年団競技別交流大会競技結果

関東ブロック競技別交流大会（神奈川県予選会）

1 第31回神奈川県エンジョイ!スポーツフェスティバル 兼

第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会バドミントン競技会神奈川県予選会

【期 日】令和7年6月14日(土) 【場 所】ひらつかサン・ライフアリーナ 【参加数】20団体 183名

種 目	優 勝	準 優 勝	三 位	
6年男子	北村 大芽(綾瀬ジュニア)	岡村 星(綾瀬ジュニア)	定松 良汰(綾瀬ジュニア)	宮川 麻人(綾瀬ジュニア)
5年男子	金子 大貴(青葉ジュニア)	鈴木 旺輔(若草 Jr. B. C.)	高木 陽向(法政クラブ)	寺本昌太郎(横浜白山)
4年男子	原 路偉(若草 Jr. B. C.)	伴野 碧(青葉ジュニア)	小宮 七音(FUTAGO.jr)	浅野 陸(三条クラークJr.)
3・2年男子	清水 汰一(横浜白山)	仁科 颯斗(三条クラークJr.)	宮川 稜人(綾瀬ジュニア)	青木 善矢(法政クラブ)
1年生以下男子	イフティカールハーミム(シャノワール)	佐伯 湊空(綾瀬ジュニア)		葦澤 花(横浜白山)
6年女子	大束 心美(青葉ジュニア)	崎坂 萌乃(横浜白山)	小林 楓奈(横浜白山)	白倉 美空(横浜白山)
5年女子	石若 璃乃(法政クラブ)	小川 結花(横浜白山)	田中 柚羽(綾瀬ジュニア)	富岡 薫乃(三条クラークJr.)
4年女子	田中 昂(綾瀬ジュニア)	中村 奏緒(法政クラブ)	高畑 葵(若草 Jr. B. C.)	鈴木 葉(横浜白山)
3・2年女子	岡村優鈴奈(綾瀬ジュニア)	寺本有弥那(横浜白山)	小金井輝心(青葉ジュニア)	
1年生以下女子	清水 千紘(横浜白山)			

2 エンジョイ!スポーツフェスティバル2025 兼 第50回神奈川県スポーツ少年団軟式野球交流大会

【期 日】令和7年5月18日(日)、6月1日(日)、7日(土)

【場 所】厚木市営及川球技場、ウイツツひばり球場 【参加チーム数】15チーム

優 勝	2 位	3 位
湘南エース(平塚市代表)	横須賀ジャガーズ(横須賀市代表)	ジュニア葵(横浜市代表) 鶴の原ヤングノーブルズ(相模原市代表)

3 第44回神奈川県スポーツ少年団エンジョイ!スポーツフェスティバル 兼

第44回関東ブロックミニバスケットボール交流大会神奈川県予選会

【期 日】令和7年6月15日(日)、21日(土)、22日(日)、28日(土)、7月6日(日)

【場 所】シンコースポーツ寒川アリーナ、海老名総合体育館、秋葉台文化体育館、秩父宮記念体育館

	優 勝	2 位	3 位	
男 子 【参加数】33チーム	柿生 (川崎市)	中原 76ers (川崎市)	K・O Kings (藤沢市)	汐見台 (横浜市)
女 子 【参加数】29チーム	菅リトルツイスターズ (川崎市)	東希望が丘 ミニバスケットボール部(横浜市)	香川ミニバス Angels (茅ヶ崎市)	桜丘ミニスターズ (大和市)

4 第48回神奈川県エンジョイ!バレーボールフェスティバル 兼

第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会バレーボール競技会神奈川県予選会

【期 日】令和7年7月5日(土)、6日(日)

【場 所】ひらつかサン・ライフアリーナ、県立スポーツ会館、川崎市立田島支援学校(さくら校、田島校)
座間市立旭小、綾瀬市立綾西小、小田原市立国府津小、相模原市立もえぎ台、秦野市立鶴巻小

	優 勝	2 位	3 位	
男 子 【参加数】16チーム	港南台ジュニア (横浜市)	藤沢クラブ (藤沢市)	田名バレーボール (相模原市)	北相チェリッシュ (相模原市)
女 子 【参加数】27チーム	緑台VBC (伊勢原市)	下中スピリッツ (小田原市)	矢作スカイブルー (小田原市)	北相チェリッシュ (相模原市)

5 第15回神奈川県空手道エンジョイ!スポーツフェスティバル 兼
 第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会空手道競技会神奈川県会予選会
 【期 日】令和7年5月31日(土) 【場 所】シンコースポーツ神奈川県立武道館
 【参加数】8団体 135名 (形：76名/組手：59名)

形競技	選手数	優 勝	準 優 勝	第 3 位
小4男子	12	喜納 悠太(湘南空手道クラブ)	中山 新太(鳳 友 会)	江藤 夏葵(湘南空手道クラブ) 岡村 柚輝(一友会空手道)
小4女子	7	狩野 楓果(鳳 友 会)	宮下柚月音(葉山町葉山空手道)	辻本 羽詩(葉山町葉山空手道) 小島 奈々(湘南空手道クラブ)
小5男子	11	小笠原悠人(日本空手道翔成會)	馬場 廉太(鳳 友 会)	木村 仁(湘南空手道クラブ) 亀山 京架(湘南正拳クラブ)
小5女子	6	益田 杏璃(湘南空手道クラブ)	小林茉莉珠(横浜系東会空手道)	櫻井 凜(葉山町葉山空手道) 田邊 凜(葉山町葉山空手道)
小6男子	8	岩田 煌將(湘南空手道クラブ)	五味晃樹(鳳 友 会)	吉田 翔星(鳳 友 会) 吉田 昊生(湘南空手道クラブ)
小6女子	5	小島 実紗(湘南空手道クラブ)	植村 東子(葉山町葉山空手道)	野中 詩友(湘南空手道クラブ) 白石 美沙(湘南空手道クラブ)

組手競技	選手数	優 勝	準 優 勝	第 3 位
小4男子	12	中山 新太(鳳 友 会)	白井 瑛助(鳳 友 会)	兼平 悠汰(一友会空手道) 小坂 尚義(葉山町葉山空手道)
小4女子	5	狩野 楓果(鳳 友 会)	小倉 早瑛(一友会空手道)	
小5男子	9	馬場 廉太(鳳 友 会)	亀山 京架(湘南正拳クラブ)	小笠原悠人(日本空手道翔成會) 中村 駆(英 友 会)
小5女子	4	小林茉莉珠(横浜系東会空手道)	田邊 凜(葉山町葉山空手道)	
小6男子	6	萩原 廉(鳳 友 会)	平 朔弥(湘南空手道クラブ)	
小6女子	5	小島 実紗(湘南空手道クラブ)	野中 詩友(湘南空手道クラブ)	

形競技	選手数	優 勝	準 優 勝	敢 闘 賞
幼年・小1 女子	2	平野 結彩(横浜系東会空手道)		田邊 悠(葉山町葉山空手道)
小1男子	5	鈴木 裕翔(英 友 会)	糟谷 柊多(横浜系東会空手道)	長井 稜真(横浜系東会空手道) 石井 咲(湘南空手道クラブ) 根本 千遙(横浜系東会空手道)
小2男子	6	高瀬 礼(横浜系東会空手道)	笠羽 太尊(英 友 会)	
小2女子	4	海沼 美花(横浜系東会空手道)	萩原衣梨奈(鳳 友 会)	
小3男子	6	多田 真(湘南空手道クラブ)	藤井 渉太(湘南正拳クラブ)	
小3女子	5	野中 千詩(湘南空手道クラブ)	佐藤衣千花(湘南空手道クラブ)	

組手競技	選手数	優 勝	準 優 勝	
幼年・小1 男女	2	鈴木 裕翔(英 友 会)		
小2男子	3	菊地迅之維(葉山町葉山空手道)		
小2女子	3	萩原衣梨奈(鳳 友 会)		
小3男子	6	多田 真(湘南空手道クラブ)	平野 陽翔(横浜系東会空手道)	
小3女子	4	野中 千詩(湘南空手道クラブ)	佐藤衣千花(湘南空手道クラブ)	

第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

【交流大会】令和7年7月12日(土)～7月27日(日) 【場 所】埼玉県(所沢市民体育館ほか)

種 目	参加チーム	記 録
軟式野球	湘南エース	Aブロック：3位
バレーボール	緑台VBC	2位グループ：3位
ミニバスケット ボール	男子：柿生 女子：菅リトルツイスターズ	1位リーグ：2位 2位リーグ：2位
バドミントン	男子：神奈川県選抜/女子：神奈川県選抜	男子：1位/女子：1位
空手道	男子：神奈川県選抜/女子：神奈川県選抜	総合順位：6位/女子：【形】A 3位 B 4位

総合開会式の様子



第20回関東小学生バドミントン選手権大会 兼
 第34回全国小学生バドミントン選手権大会関東地区予選会(ダブルス戦) 兼
 神奈川県スポーツ少年団競技別交流大会【バドミントン】(ダブルス戦)

【期 日】令和7年8月23日 【場 所】アサンテ スポーツパーク(県立スポーツセンター)スポーツアリーナ1

種 目	優 勝	準 優 勝	三 位	
6年 男子複	⑥岡村 星 ⑥定松 良汰 (綾瀬ジュニアバドミントンクラブ)	⑥木村 佳汰 ⑤原田 悠作 (NP神奈川)	⑥升 皓羽誠 ⑥古本 優悟 (法政クラブ)	⑥梅本 楽人 ⑥岩堀 廉 (R・A・Cバドミントンクラブ)
5年 男子複	⑤楊 鐘茗 ⑤小山 大耀 (Selfish)	⑤遠山 正曜 ④竹内 仁 (Azzurri Badminton Club)	⑤伊藤 大地 ④小宮 七音 (FUTAGO)	⑤小澤 烈 ⑤内海 伊織 (シャ・ノワール)
4年以下 男子複	④佐藤 絆俐 ④佐藤 結俐 (Selfish)	③石附 優馬 ③武田 航 (NP神奈川)	④遠藤 陽馬 ②森本 皓太 (NP神奈川)	④浅野 陸 ③仁科 颯斗 (三条クラークJr.)
6年 女子複	⑥長原 灯 ⑥崎坂 萌乃 (横浜白山バドミントン)	⑥小林 侑夏 ⑥小林 楓奈 (横浜白山バドミントン)	⑥黒岩 遥 ⑤田宮 真愛 (NP神奈川)	⑥浅野 凜 ⑥篠田 佳季 (三条クラークJr.)
5年 女子複	⑤島崎 詩花 ⑤曾根 世菜 (Selfish)	⑤小川 結花 ⑤白倉 美空 (横浜白山バドミントン)	⑤田中 柚羽 ⑤井出 葵 (綾瀬ジュニアバドミントンクラブ)	⑤武井 穂乃 ⑤中川 遥葵 (NP神奈川)
4年以下 女子複	④中村 奏緒 ③中島 菜晴 (法政クラブ)	④鈴木 紺 ④内田 千結 (横浜白山バドミントン)	④渡邊 心結 ②渡邊 彩心 (串川育成会)	②鈴木 葉 ②白倉 梨乃 (横浜白山バドミントン)

加盟団体紹介「神奈川県ボクシング連盟」

神奈川県ボクシング連盟

会長 敷田 博昭

【概要】

当連盟は昭和23年神奈川県アマチュアボクシング連盟として発足し、平成25年に神奈川県ボクシング連盟に改称、令和10年には設立80年を迎える。神奈川県内のアマチュアボクシング競技を統括する団体として、競技の健全な発展と選手の心身の育成に寄与することを目的に活動している。令和7年現在、44名の理事役員がおり、総務部、競技運営部、審判部、強化部の4つの部を組織し、加盟団体管理、大会運営、選手強化等を行っている。選手強化に努め、国民スポーツ大会の入賞を目指すほか、近年はマスボクシングの普及に力を入れ、ボクシング競技人口の拡大に努めている。

【主な県内大会】

- 4月 高校関東大会県予選会兼国民スポーツ大会代表選考会（少年）
国民スポーツ大会代表選考会（成年）
全日本アンダージュニア（UJ）ボクシング王座決定戦県代表選考会
- 6月 高校全国総体県予選兼国民スポーツ大会代表選考会（少年）
県マスボクシング大会
- 7月 全日本マスボクシング選手権大会県予選会
全日本ボクシング選手権大会県予選会
ジュニア強化練習会
- 10月 関東UJ大会県予選会
県高校新人戦
全日本社会人大会県予選会
県一般新人戦
- 11月 東京神奈川定期戦
- 2月 マスボクシング交流会



令和7年2月9日 マスボクシング交流会 県立スポーツセンター

【令和7年度神奈川県選手全国大会成績】

- 第11回全日本UJ王座決定戦
優勝 小学生男子40kg級、中学男子68kg級 認定 小学生女子46kg級
- 第79回国民スポーツ大会
少年 優勝 ピン級 5位 ウェルター級 ミドル級
- 第5回全日本マスボクシング選手権大会
優勝者4名 準優勝者2名



国民スポーツ大会 神奈川県選手団

【加盟団体・登録選手数】

加盟団体 合計27団体

ボクシングジム…13 大学…5 高校…9

登録選手 合計247名（58）（）内はマスボクシング登録選手内数

一般…64（48） 大学生…77（1） 高校生…72（2）

中学生…21（0） 小学生…13（7）

加盟団体紹介「一般社団法人神奈川県クレー射撃協会」

一般社団法人 神奈川県クレー射撃協会

会長 加藤 修一

『獲物を狙う本能は変わらない。その技術とルールは時代とともに進化してきた』

【クレー射撃の歴史】

クレー射撃の起源は古く、1790年頃には既にイギリスのハイゲート地方でアオバトを放って射撃するゲームが行われていました。1856年にハンティングフィールド卿が前方に置いた籠にアオバトを入れ、助手が遠方から紐で扉を開いて放鳥し、これを射撃する競技を考案しました。これが現在のクレー射撃（トラップ射撃）の原点だと言われています。しかし動物愛護の観点や、競技をより標準化・公平にする必要性から、1880年にアメリカで本日のようなクレー・ピジョンが発明されて流行しました。

1900年の第2回オリンピック・パリ大会でトラップ射撃が正式種目に採用されましたが標的に鳩を使い、残虐性を指摘されたことを機に、クレーピジョンを使った射撃がヨーロッパそしてアメリカでも盛んに行われるようになりました。

日本での散弾銃を使用した射撃は、現在の横浜市鶴見区にて1878年（明治11年）にスズメの放鳥射撃が行われたのが日本国内での射撃との記録があり、1878年（明治11）横浜放鳥会が結成され、同年に鶴見村射撃場にて第1回放鳥射撃大会が開催されたという記録があります。その後、アメリカからクレー標的とハンド・トラップ（手投げ放出機）が輸入され、クレー射撃の愛好者も全国的に増えていきました。1922年（大正11）には日本最初の全日本クレー射撃選手権大会が開催されました。

日本のクレー射撃オリンピック参加は1956年メルボルン大会からです。1992年（平成4）の第25回オリンピック・バルセロナ大会では、トラップ種目で渡辺和三（わたなべかずみ）氏（1947—1996）（神奈川県）が出場し見事銀メダルを獲得し、日本クレー射撃界初のメダリストとなりました。尚、現在当協会には2名のオリンピック選手が所属しています。現在、公益社団法人日本クレー射撃協会が国内でのクレー射撃競技を統轄し、各種公式大会の開催、国民スポーツ大会への参加、国際競技・オリンピック大会への選手派遣やクレー射撃普及活動を行っています。



写真 井上 恵選手

【主な事業内容】

当協会主催の事業として年7～8回の公式大会や国民スポーツ大会の予選会等開催しており、国民スポーツ大会への派遣、その他に神奈川県選手権やallかながわスポーツゲームス等の企画、運営を行っています。

また、クレー射撃に関する指導者及び審判員の育成を行っており、クレー射撃スポーツの普及・発展に努めています。

公式ホームページ

<https://www.kanagawaken-clay-shooting.com/>

スポーツ随想「一般社団法人日本デフバレーボール協会」

～東京 2025 デフリンピックを終えて～

デフリンピックは国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」です。

国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）が主催し、4年毎に夏季・冬季大会が開催されるデフアスリートの国際スポーツ競技会です。第1回大会は1924 フランスで開催され、日本で初めて開催された東京 2025 デフリンピックは、100周年記念大会となります。

令和7年11月15日～26日に開催された大会には、70～80か国、約3000人の選手が参加し、21競技が展開され、バレーボール競技日本女子代表チームは、2017年サムスン大会の金メダルから、2大会ぶりの金メダル獲得とという、素晴らしい成績を収められました。

バレーボール競技女子代表チームには、本県ゆかりの選手が多数選出されており、代表選手から大会優勝後のコメントをいただきましたので、日本デフバレーボール協会とあわせてご照会させていただきます。

一般社団法人日本デフバレーボール協会

日本デフバレーボール協会は、聴覚障害者バレーボール関係者が集い設立したバレーボール団体で、2025年は27年目となります。主な事業は、日本代表チームの強化・派遣、デフバレーボールの全国大会の運営、PR活動、指導・普及等を行っています。日本の最大規模の聴覚障害者スポーツ団体です。

<私たちの活動理念>

この状況下で、私たちは、聴覚障害者の声ならぬ声を「手話」という言語と、バレーボールというスポーツをとおして、デフリンピックで世界一を目指し、普及活動を行いながら社会にデフバレーボールと聴覚障害者の実態を発信し、聴覚障害への理解を深め、聴者との共存社会の実現に結び付けていくことを活動理念としています。この活動は、スポーツ経験や年齢・聴覚障害の程度を問わず、聴覚障害者にアイデンティティを示し、日常あるいは社会生活を送る上でパワーの根源や目標になると思います。

また、デフバレーを発展させることは、デフバレーのみにとっての利益ではなく、障害への対峙に悩む聴覚障害者や取り巻く家族や関係者をはじめ、その他の障害の人たちにとっても大きく貢献していくことができると考えています。



東京2025デフリンピックのバレーボール競技女子代表選手に選出された、神奈川県ゆかりの選手4名から、優勝後のコメントをいただきました。

高 濱 彩佑生 選手 (県立平塚ろう学校卒、鎌倉市在住)

Q1 大会を終え、金メダルを獲得した、今の感想をお願いします。

チームとして掲げていた金メダルという目標を達成することができて、今は本当にホッとしています。ここまで支えてくださった家族や友人、スタッフの皆さんに、金メダルを報告できたことがとても嬉しく、たくさんの人にお祝いのお言葉をいただき、幸せな気持ちでいっぱいです。

Q2 デフリンピックに向け、心がけていたことはどんなことですか。

まずはコートに少しでも長く立ってプレーをし、チームの勝利へ貢献したいと思っていました。わたしたちのバレーボールはこれだ！というのを観客や応援してくださっているみんなに見せられたらいいなと思っていました。

また、リリーフサーバーとしての役割を果たすため、これまでの練習の成果をサーブでしっかり発揮できるよう特に意識してきました。さらに、ベンチとしての仕事では、スタッフやメンバーを含め周囲の状況に敏感になり、自ら動くことを心がけていました。

Q3 競技を続けていて、一番つらかったこと、大切にしていたことは何ですか。

「金メダルを掴むまでの道のりは決して簡単ではなく、苦しく、辛いことばかりでした。でも、どんなに苦しくても前向きなことだけを考えようと心がけてきました。

実際にはネガティブなことを考えてしまうこともありましたが、練習や試合をする時だけはポジティブでいることを大切にしてきました。」

Q4 今後の目標、神奈川県民のみなさんへメッセージをお願いします。

今後の目標は、4年後のデフリンピックにも出場し、今度こそはスタメンでチームの勝利へ貢献できるように日々の練習に励んでいきたいと思います。また、3年後の世界選手権や4年後のデフリンピックでもいい報告ができるように頑張っていきたいです。

神奈川県民のみなさん、デフリンピックではたくさんの応援や温かい声援を本当にありがとうございました。私たちのデフバレーボールを見て、勇気や興味などを持っていただけたら嬉しいです。デフバレーはまだまだ終わらないので、これからもたくさんの応援、声援のほど、よろしく願いいたします！

Q1 大会を終え、金メダルを獲得した、今の感想をお願いします。

念願の金メダルを獲得することができ、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。あたたかいご声援を送ってくださった皆さま、本当にありがとうございました。

毎試合、想像をはるかに超える観客の皆さんにお越しいただき、胸が熱くなる思いでした。皆さんの前で最高のパフォーマンスをお見せでき、とても楽しく、幸せな時間を過ごすことができました。どんなに苦しい状況でも、チーム全員が最後まで諦めない姿勢を貫き、会場の皆さんと一緒に戦うことができました。

そして、今回の東京開催をきっかけに、より多くの方にデフリンピックを知っていただける大きな機会になったと感じています。障害の有無にかかわらず、たくさんの方にデフスポーツの魅力を感じていただけたら、私はとても嬉しいです。

Q2 デフリンピックに向け、心がけていたことはどんなことですか。

日本は他国に比べて平均身長が低いチームですが、「身長が低くてもできることは何か」を常に考えながら練習に取り組んできました。

ディフェンス面では、相手がどれだけ強烈なスパイクを決めてきても必ず拾うこと、そして弾いたボールを最後までカバーし切る姿勢を日頃の練習から徹底し、日本らしい“粘り強さ”を武器として磨いてきました。

一方、攻撃面では相手のブロックが高く、ドシャットされる場面も多いため、素早いコンビネーションでブロックが完成する前に決め切ることを意識してきました。また、パワーを生かし、ブロックを利用したブロックアウトなど、多様な攻撃パターンで得点を狙うことも心がけました。

Q3 競技を続けていて、一番つらかったこと、大切にしていたことは何ですか。

金メダル獲得を目標にしてきたので、決して簡単な道のりではありませんでした。しかし、その明確な目標があったからこそ、どんなにつらいことや苦しい状況も乗り越えることができました。

得点を取るポジションとして、思うように決められず悩むことも多くありましたが、コートの中では決して暗い表情を見せず、調子が良くない時でも副キャプテンとしてチームを引っ張ることを大切にしてきました。

Q4 今後の目標、神奈川県民のみなさんへメッセージをお願いします。

目標はまだ明確には決めていませんが、応援に来てくださった皆さんには、これから少しずつご報告できればと思っています。

そして、今回のデフリンピックをきっかけに、より多くの方にデフスポーツの魅力を知っていただき、これから競技を始めようとしている子どもたちが挑戦しやすい環境を作れるよう、たくさんの方に協力していただきながら盛り上げていきたいと思えます。

最後に、今大会は本当に多くの方々に応援していただきました。ボランティアの皆さん、支えてくださったスタッフの方々、家族、そして関わってくださったすべての皆さんのおかげで、最高のデフリンピックになったと感じています。

改めて、たくさんのご声援を本当にありがとうございました。

Q1 大会を終え、金メダルを獲得した、今の感想をお願いします。

自身にとっては3回目のデフリンピック出場で、金メダルは2回目ですが、今回は金メダルを手にした瞬間の喜びは、言葉では言い表せないほど大きなものでした。

2022年のブラジル大会では、準決勝まで勝ち進んだものの、コロナ感染により棄権せざるを得ず、あと一步のところまでメダルを逃し、メダル獲得できないという非常に悔しい経験をしました。あの時の無念さを胸に、「次こそ必ずリベンジし、金メダルを掴む」という強い思いを持って、この3年間、チームの仲間やスタッフの方々とともに努力を重ねて、団結力を高め合い、技術や体力だけではなく、精神面でも大きく成長する時間となりました。

また、家族や友人、会社の皆さまをはじめ、本当に多くの方々の厚いサポートと応援に支えられたことが、私たちの力となり、最後まで走り抜く原動力となりました。金メダルという最高の形で恩返しをすることができ、本当に心から嬉しく思っています。

Q2 デフリンピックに向け、心がけていたことはどんなことですか。

練習やトレーニングはもちろん、それだけではなく、講演や積極的に参加し、デフバレーの魅力を皆さんに伝えてきました。大会期間中は、デフバレー会場に毎日のように入場制限が出るほど、多くの方々が応援に駆けつけてくださいました。その景色を目にするたび、胸の奥が熱くなりました。私は金メダルを目指すことに加えて、「デフバレーって面白い!」とより多くの人に感じてもらいたいという思いを持っていました。

そのため、競技そのものの魅力をプレーで伝えられたこと、そして実際に多くの方から「とても面白かった」「迫力があつた」といった声をいただけたことが、大きな喜びでした。競技を通じて、デフスポーツの新たな可能性を広げる一助となれたのなら、これ以上の幸せはありません。

Q3 競技を続けていて、一番つらかったこと、大切にしていたことは何ですか。

2025年5月末、大会で負った足首の捻挫です。捻挫自体は初めてではありませんでしたが、これまでで一番重度でした。当時の私はプレーの調子がよく伸びしろがあるという手ごたえを強く感じていた時期でした。まさにいい波に乗っていたその瞬間、ケガによって自信があったジャンプが思うようにできなくなり、積み重ねてきた努力が一瞬で崩れ落ちてしまいました。心にぽっかり穴が空いてしまい、しばらくは悔しさと涙が止まりませんでした。

それでも、周りの仲間は前へ進み続けているその姿を見て、みんなと一緒にやりたい、早く復帰したいと強く思いました。復帰するまで思ったより時間がかかってしまいましたが、必死にリハビリを続けた結果、思いっきり飛べるようになり、大会ではミドルブロッカーとしての役割を果たすことができたと思います。チームに貢献できたことは何よりの喜びです。

Q4 今後の目標、神奈川県民のみなさんへメッセージをお願いします。

今回、東京でデフリンピックが開催されたことによって、デフスポーツや聴覚障害者についての理解や関心が以前よりも大きく高まったと感じています。しかし、これを一過性のものにすることなく、今後もイベントや講演などに積極的に参加し、多様な人が互いを理解し支え合う「共生社会」の実現に貢献できるようスポーツを通じた発信、活動を続けていきたいと思っています!

Q1 大会を終え、金メダルを獲得した、今の感想をお願いします。

自国開催ということもあり、不安やプレッシャーもありましたが、たくさんの皆様に応援していただき、優勝の瞬間をお見せすることができて本当に嬉しく思っています。

大会期間中、特にバレー会場は満席で、入れなかった方が多くいらっしやったと聞き、私自身も想定していなかったほどの盛り上がりでした。そのことで、デフリンピックやデフバレーを多くの方に知っていただけたのではないかと感じています。

また、デフリンピック 2 大会ぶりの金メダルでもあり、金メダルに対する想いもこれまでとは大きく変わっていました。今回の優勝は、これまでお世話になった方々に恩返しができた金メダルだと強く感じています。

Q2 デフリンピックに向け、心がけていたことはどんなことですか。

私は、2017 年トルコ・サムスンデフリンピックで 17 年ぶりの金メダルを獲得しましたが、2022 年ブラジルデフリンピックではコロナの影響により、日本選手団は全競技を途中棄権となり、何もできず帰国する悔しい経験をしました。

東京開催が決まった瞬間から、その悔しさを自国でぶつけ、「3 度目の正直」で必ず金メダルを獲得し、日本チームが世界一と言えるチームをつくりたいという強い想いで練習に励んできました。

また、デフリンピックの認知度を高めるため、各地のイベントや学校などで講演活動も積極的に行ってきました。練習だけではなく、日本中の人々が障害の有無に関わらず、誰もが生きやすい社会をつくるためには、目で見ても分かりにくいと言われる「聴覚障害」への理解を広めることも大切だと感じ、その活動にも力を入れてきました。

Q3 競技を続けていて、一番つらかったこと、大切にしていたことは何ですか。

一番つらかったのは、やはり「練習」です。練習の積み重ねが結果につながると分かっているけど、地味な反復練習を何度も続けるための精神力と体力が、一番苦しい部分でした。それでも乗り越えることができたのは、チームメイトやスタッフの存在があったからです。

バレーボールは一人では勝てない競技で、全員で戦うスポーツです。仲間が必死に練習する姿を見るたびに「自分も頑張ろう」と気持ちを奮い立たせることができました。

また、監督・コーチ・スタッフの皆さんがボール拾いやサポートを全力でしてくださり、「一緒に世界一を取りたい」という強い想いがあったからこそ、苦しい練習も乗り越えられたと感じています。

そして、私が大切にしてきたのは「人との出会い」です。バレーボールはボールを繋ぐ競技ですが、それはただ繋ぐだけではなく、「次の人がどんなボールを欲しいのか」を考えながらプレーしなければなりません。だからこそ、相手の想いを大切にし、人と人とのつながりを重視してきました。

スポーツは勝敗だけでなく、人生を変える出会いをくれるものだと強く感じています。

Q4 今後の目標、神奈川県民のみなさんへメッセージをお願いします。

デフリンピック期間中は、たくさんの応援をいただき本当にありがとうございました。

県民の皆様のおかげで金メダルを獲得することができ、デフバレーボールは「日本が世界一」と胸を張って言える結果になりました。デフリンピックを通じて、スポーツには人生を変える力があり、また、人とのコミュニケーションの大切さを改めて感じています。こうした学びを、これからの子どもたちにも伝えていけたらと思っています。

今後は、デフスポーツや聴覚障害への理解をさらに広め、さまざまな場面で活動できるよう努めてまいります。

引き続き、デフバレーボール女子日本代表への応援をよろしくお願いいたします。



準決勝、ウクライナ戦



表彰式前、トルコチームと

かながわアスリートネットワーク協働事業 親子卓球教室

令和7年10月19日(日)県立スポーツ会館において『かながわアスリートネットワーク協働事業 親子卓球教室』を開催しました。

講師には、アスリートネットワークのメンバーである「長谷部 攝」氏をお招きし、抽選により決定した14組の親子が参加されました。

今回参加されたお子さんは全員卓球経験が無く、ご家族の方も経験者は数名ということで、まずはラケットの握り方に始まり、ラケットの面(向き)やボールの弾み方に慣れる玉つきや、基本的なサーブやフォア、バックの打ち方などを教えていただき、親子でのラリーや、親子で協力して的確なゲームを行いました。



県卓球協会の指導員の方にもご協力いただき、親子でとても楽しい時間を過ごすことができ、終始和やかなムードの中、体験教室を終えることができました。的確なゲームでは、お子さんに負けず、親御さんも真剣モードでスマッシュを打ち込んでいたのが印象的でした。

長谷部氏からは、「これをきっかけに、卓球に親しんでいただき、神奈川県から全国で活躍する選手が育ってくれと嬉しい。親子でスポーツを楽しんでいただける機会をたくさん作っていきたい。」と話しをされました。

本県の卓球競技は、今年度の国民スポーツ大会で、競技別天皇杯、杯皇后杯を制し、指導員の登録者数も全国トップクラスである。レベルの高さと愛好者が多い競技であり、今回のように初心者でもすぐに楽しく行うことができる、素晴らしい競技であるとあらためて感心しました。

これを機会に親子でスポーツに親しんでもらい、スポーツを継続していただくと嬉しく思います。長谷部氏、並びに神奈川県卓球協会に、感謝申し上げます。



日常生活でもフェアプレー「いじめ防止啓発ポスター」

平成19年度から、当協会では、「スポーツを通じたもうひとつの社会貢献活動」事業のひとつとして、神奈川県のアスリートにご協力いただき、「いじめ防止啓発ポスター」を作成しています。

このポスターは、県内の小・中・高等学校及び特別支援学校、警察署、金融機関、公共交通機関、県の各施設等、約4,200ヶ所に掲示のご協力をいただき、いじめ防止に向けた啓発活動を行っております。

今年のポスターは、横浜 DeNA ベイスターズの三浦監督（令和7年度）にモデルのご協力をいただき、「日常生活でもフェアプレー」をキャッチフレーズに、「いじめは、フェアプレーの精神に反する行為です。」と、断固としていじめを撲滅する、強い気持ちを表しました。



高田商業高校から1991年のプロ野球ドラフト会議で「大洋 ホエールズ（現横浜 DeNA ベイスターズ）」に6位指名され入団。1998年には12勝を挙げ、チームの38年ぶりとなるリーグ優勝、そして日本一に大きく貢献。エースとしてチームを牽引した。2005年には最優秀防御率と最多奪三振の二冠を達成。さらに、2015年には当時 NPB 最長記録となる23年連続勝利を記録するなど、長きにわたりチームのエースとして活躍した。2016年に現役を引退。横浜一筋25年の現役生活を終えた。2020年、横浜 DeNA ベイスターズでのファーム監督を経て、2021年から一軍監督に就任。2024年には監督としてチームを26年ぶりの日本一に導き、その手腕を発揮した。トレードマークであるリーゼントヘアと、野球に対する熱い姿勢から「ハマの番長」の愛称でファンに親しまれている。

公認スポーツ指導者制度の改定についてお知らせ

公認スポーツ指導者基本登録料の改定のお知らせ

公認スポーツ指導者の基本登録料については、これまで4年間で10,000円としておりましたが、**令和8年10月登録以降**から改定されることとなりました。

指導者の皆様の負担を抑えながらも、制度を持続可能なものとするため、**2種類の登録料**を導入し、ご希望に応じて選択いただけるようにいたします。

デジタル版（13,000円）

「Sport Japan」や「スポーツ指導者手帳」「各種案内・通知」など全ての印刷物をデジタル化し、それらの閲覧や確認はオンライン（メール含む）で提供します。登録料の納入はクレジットカード等の電子決済になります。

ペーパーベース版（17,000円）

これまで通り各種の印刷物を郵送等で提供し、登録料の納入方法も従来通りです。

競技別指導者資格専門科目カリキュラムの改定について

下記、資格のカリキュラム改定が承認されたことが日本スポーツ協会から発表がありました。

テニスコーチ3、テニスコーチ4、ローイングコーチ4、ボウリングコーチ1、
バレーボールコーチ1、バレーボールコーチ2、バレーボールコーチ3、
バレーボールコーチ4、フェンシングコーチ1、バイアスロンコーチ3

更新研修におけるポイント制の導入について

これまで4年間の資格有効期限（資格有効期限の半年前まで）のうちに1度受講すれば良かった公認スポーツ指導者資格更新研修会についてですが、令和9年度より新たにポイント制を導入することになったと日本スポーツ協会より発表がありました。

具体的な内容等につきましては令和8年度中に日本スポーツ協会から情報公開があり次第、本誌および本会公式ホームページにて情報提供させていただきます。

本内容は日本スポーツ協会から公表、情報提供あった内容を抜粋して記載しております。

おめでとうございます！
～各表彰受章・受賞者紹介～

日頃の努力と長年にわたる精進の結果、
顕著な成績をあげられました次の方々に敬意を表しここに紹介いたします。
今後のますますのご活躍を期待しております！

(敬称略：順不同)

【令和7年度 秋の叙勲】

《旭日双光章》



元神奈川県バドミントン協会 会長
羽隅 弘治 氏

令和7年度 生涯スポーツ功労者表彰（文部科学大臣表彰）

井上 桂	神奈川県レクリエーション協会副会長
近藤 勇司	神奈川県バドミントン協会会長
日下 啓二	横浜市テニス協会会長
佐藤 節子	座間市レクリエーション協会会長
安倍 正弘	神奈川県スポーツ協会理事兼神奈川県スポーツ少年団本部長
大澤 恵子	日本空手道翔成会スポーツ少年団代表指導者

第74回神奈川スポーツ賞

神奈川VANGUARDS

車いすバスケットボール：天皇杯第50回記念日本車いすバスケットボール選手権大会 3連覇

国民スポーツ大会 スポーツクライミング競技少年男子神奈川県チーム

スポーツクライミング：第79回国民スポーツ大会 スポーツクライミング競技少年男子ボルダー 2連覇
湘南工科大学付属高等学校テニス部男子団体チーム

テニス：令和7年度全国高等学校総合体育大会 2連覇

桐蔭学園高等学校ラグビー部

ラグビー：第104回全国高等学校ラグビーフットボール大会 2連覇

横浜高等学校公式野球部

野球：第97回選抜高等学校野球大会 優勝

令和7年度 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰

羽渕 よし子 神奈川県水泳連盟
奥山 民江 神奈川県なぎなた連盟
伊藤 晴実 神奈川県山岳連盟
勝巻 辰則 神奈川県山岳連盟
山田 慶子 鎌倉市スポーツ協会

令和7年度 日本スポーツ少年団顕彰

伊勢原市スポーツ少年団
村上 正 伊勢原市スポーツ少年団
室田 次朗 寒川町スポーツ少年団

神奈川県スポーツ少年団表彰・単位団

馬堀FCルンデスポーツ少年団 横須賀市
成瀬サッカークラブスポーツ少年団 伊勢原市
小田原チーターズスポーツ少年団 小田原市

神奈川県スポーツ少年団表彰・指導者

兵藤 政和	横浜市スポーツ少年団	松本 洋一	相模原市スポーツ少年団
杉村 佳彦	相模原市スポーツ少年団	清水 洋隆	相模原市スポーツ少年団
田邊 一也	藤沢市スポーツ少年団	木下 香奈	藤沢市スポーツ少年団
谷川 清	藤沢市スポーツ少年団	林 由直	小田原市スポーツ少年団
矢ヶ村 和明	小田原市スポーツ少年団	吉村 賢次	厚木市スポーツ少年団
嵯峨 栄一郎	海老名市スポーツ少年団	太田 裕二	座間市スポーツ少年団
若林 正啓	寒川町スポーツ少年団		

【神奈川県スポーツ少年団表彰・役員・スタッフ】

赤石 隆之 座間市スポーツ少年団
小林 英司 寒川町スポーツ少年団
近藤 竜之亮 座間市スポーツ少年団

* 本会及び本会加盟団体（登録団体含）、関係団体からの推薦、所属として受賞された方々を掲載しています。
(神奈川県スポーツ賞を除く)

ご支援ありがとうございます！
令和7年度各種協賛企業・団体、賛助会員等の紹介

令和7年12月31日現在

特別協賛団体

(一財)神奈川県教育福祉振興会
株式会社横浜岡田屋
株式会社アイネット
京浜急行電鉄株式会社

株式会社ハリマビシステム
藤木企業株式会社
神奈川レディースオープン実行委員会

競技力向上対策事業支援団体

医療法人横浜未来ヘルスケアシステム

神奈川工科大学

賛助会

【個人会員】

相原 厚	秋山 聡	浅野 俊二	麻生 敬	穴澤 康孝	安倍 正弘
五十嵐 功	石原 春男	井出 ひろみ	植村 弘	碓井 進	遠藤 五夫
大石 進	大河原 正生	大久保 和彦	鴻 義久	大野 徹	岡田 裕之
岡本 仁志	奥村 彩香	小野 力	小野寺 貞雄	貝道 和昭	笠井 達夫
笠野 順一	勝又 敬夫	加藤 清和	金丸 太郎	鴨志田 誠	菊地 正
木村 研治	日下 啓二	具志堅 幸司	小坂 茂生	駒形 芳彦	齋藤 幸次
齋藤 眞佐代	坂田 安太郎	佐藤 秀喜	佐野 和夫	佐野 博	塩谷 和雄
島田 圭	島田 正樹	島田 由明	嶋村 公	新木 康稔	新屋 干城
須貝 謙治	鈴木 勝之	鈴木 一	鈴木 浩	鈴木 康夫	清田 一正
関口 美恵子	泉水 孝子	曾根 秀敏	高田 佳朗	高橋 謙治	高橋 直樹
瀧本 幸文	田中国 義	田中 寿人	田中 不二夫	田名部 高雄	田村 義男
土屋 清敬	露木 重雄	鶴岡 美津子	巴 伸一	内藤 通昭	永島 猛
中田 勉	夏苺 静男	新倉 賢一	野口 隆史	野田 ひろみ	長谷川 勇
長谷川 博美	羽田 慎司	花村 聡	林 辰典	半田 真一郎	廣田 眞作
藤田 時彦	不破 伸二	堀川 博美	松本 哲	三嶋 正志	三村 由紀
山下 泰裕	山田 悠一	山室 ひとし	吉岡 利忠	吉川 智己	吉田 宗紀
吉田 和市	吉本 秀之	渡辺 真由美			

(五十音順・敬称略)

【団体会員－企業・団体】

株式会社安藤スポーツ	稲岡ハウジング株式会社	岩井総合労務管理事務所
株式会社江戸清	エレテックコーポレーション株式会社	(一社)神奈川県商工会議所連合会
(一社)神奈川県情報サービス産業協会	(公社)神奈川県柔道整復師会	(一財)神奈川県私立中学高等学校協会
神奈川県民共済生活協同組合	かながわ信用金庫	株式会社神奈川ナブコ
神谷コーポレーション株式会社	川崎市剣道連盟	川本工業株式会社
北丹沢合同会社	京浜急行電鉄株式会社	株式会社コナカ
株式会社相模原ゴルフクラブ	湘南地区柔道協会	相鉄ホールディングス株式会社
東京体育用品株式会社	戸塚共立いずみ野病院	有限会社仲手川印刷
箱根温泉供給株式会社	平塚信用金庫	藤木企業株式会社
有限会社三村看板店	株式会社Yuki Print	株式会社横浜岡田屋
横浜港木材倉庫株式会社	株式会社横浜シーサイドピア	横浜信用金庫
株式会社ライフプラス 鍼灸整骨院ひまわり		(順不同：敬称略)

【団体会員－加盟団体】

神奈川県アイスホッケー連盟	神奈川県アーチェリー協会	(公財)小田原市体育協会
鎌倉市スポーツ協会	神奈川県空手道連盟	神奈川県剣道連盟
神奈川県高等学校体育連盟	神奈川県銃剣道連盟	神奈川県柔道連盟
神奈川県少林寺拳法連盟	(一社)神奈川県水泳連盟	(公財)神奈川県スキー連盟
神奈川県スケート連盟	神奈川県スポーツチャンバラ協会	神奈川県セーリング連盟
神奈川県ソフトテニス連盟	神奈川県体操協会	(一社)神奈川県卓球協会
神奈川県中学校体育連盟	神奈川県テニス協会	神奈川県なぎなた連盟
神奈川県バウンドテニス協会	箱根町体育協会	(一社)神奈川県バスケットボール協会
(公財)秦野市スポーツ協会	神奈川県バドミントン協会	(一財)神奈川県バレーボール協会
神奈川県ハンドボール協会	平塚市スポーツ協会	神奈川県ボウリング連盟
湯河原町スポーツ協会	(公財)横浜市スポーツ協会	NPO法人神奈川県ライフル射撃協会
(一社)神奈川県ラグビーフットボール協会	(一財)神奈川県陸上競技協会	(順不同：敬称略)

スポーツ振興推進費付き自動販売機設置事業協力企業

株式会社ハリマビステム	株式会社横浜銀行横浜駅前支店	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
-------------	----------------	---------------------

golfer募金協力ゴルフ場

横浜カントリークラブ	戸塚カントリー倶楽部	程ヶ谷カントリー倶楽部
葉山国際カントリー倶楽部	磯子カントリークラブ	相模原ゴルフクラブ
鎌倉カントリークラブ	湯河原カントリー倶楽部	芙蓉カントリー倶楽部

広告協賛企業・団体

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	公益財団法人スポーツ安全協会	株式会社テレビ神奈川
東京海上日動火災保険株式会社	日本ライフライン株式会社	

順不同：敬称略

特別協賛・賛助会員の募集について～個人・団体・法人様向け～

神奈川県スポーツ協会の事業（競技力向上、スポーツ教室の開催、スポーツ少年団の育成、いじめ防止啓発などの社会貢献活動等）推進にご協力をお願いします。皆さまのご支援をお待ちしております。

【特別協賛】	企業・団体	1口	100,000円から
【賛助会員】	個人会員	1口	5,000円から
	企業・団体会員	1口	10,000円から

☆特別協賛・賛助会員とも、1口以上からのお申し込みになります。

～特典～

☆特別協賛金・賛助会費は公益目的事業費に活用いたしますので、税制優遇制度が適用されます。

☆機関誌「スポーツ神奈川」と神奈川県スポーツ協会ホームページにお名前を紹介させていただきます。

☆国民スポーツ大会の神奈川県選手団結団式へご招待し、ご紹介させていただきます。

スポーツ神奈川への広告募集について～団体・法人様向け～

神奈川県スポーツ協会の機関誌「スポーツ神奈川」へ広告を掲載させていただきます。

【年額】	スポーツ神奈川（年2号発行）の広告	A4サイズ	40,000円
	スポーツ神奈川（年2号発行）の広告	A5サイズ	20,000円

ホームページへの広告募集について～団体・法人様向け～

神奈川県スポーツ協会のホームページのトップ画面へバナー広告を掲載させていただきます。

バナー広告 1か月 5,000円

- サイズ：縦64ピクセル×横210ピクセル 容量：150キロバイト以内
 形式：GIF、JPEG、PNG

神奈川県スポーツ協会暴力行為・コンプライアンス相談窓口ホットライン

神奈川県スポーツ協会では、スポーツ界における暴力行為等の根絶に向けて、暴力行為・コンプライアンス相談窓口を開設し、各種ご相談やお問い合わせを受け付けております。

◆相談窓口ホットライン ☎045-314-0010（直通）

電話相談受付日時：毎週 火曜・金曜 9時から16時30分まで
（祝日及び本会休業日にあたる場合は除く）

◆電子メール受付：soudan@sports-kanagawa.com

◆ファクス受付：045-311-0637

（電子メール、FAX及び書面での相談は常時受付）

◆相談窓口の利用対象者：本会加盟団体・神奈川県スポーツ少年団・神奈川県総合型スポーツクラブネットワーク加盟クラブの登録者及び関係者、本会及び加盟団体役職員

◆相談内容の範囲

- 身体的・精神的暴力行為等に関する事
- 身体的・精神的セクシャルハラスメント及びパワーハラスメントに関する事
- ドーピング防止及び薬物乱用に関する事
- 不適切な経理処理及び不正行為に関する事
- その他、法令違反に関する事

訃報

永年にわたり、本県スポーツ界の発展、振興に寄与されましたご功績を称え、ご冥福をお祈り申し上げます。

明石 一雄 様 元公益財団法人神奈川県スポーツ協会 専務理事
令和7年 8月27日 ご逝去 (享年85歳)

事務局だより

◆スポーツ会館外壁工事について

令和7年9月～令和8年3月中旬にかけて、外壁の改修工事が行われています。ついては、この期間、駐車場のご利用ができません。

また、体育館のご利用も、2月1日から3月16日までの間は、ご利用ができません。ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解ご協力のほど、お願いいたします。

◆施設予約システムについて

現在、施設予約の際ご利用されております、施設予約システムが、令和8年2月中旬に変更されることとなりました。つきましては、スムーズに移行していくため、1月末日までに、連絡者のメールアドレスを登録していただきますよう、お願いします。

編集後記

スポーツ神奈 106号をお届けいたします。

本号は、令和6年度並びに令和7年度理事会及び評議員会のご報告を掲載しております。

また、第79回国民スポーツ大会（滋賀県）では、天皇杯第6位、皇后杯第7位の成績を収めました。9月～10月開催でしたが、超異常気象で気温35度になる日もあったなかでの大健闘の成績でした。

令和7年度の活動として神奈川県高等学校体育連盟、神奈川県中学校体育連盟、神奈川県小学校体育研究会そして神奈川県スポーツ少年団から報告されています。

加盟団体紹介では、神奈川県ボクシング連盟と神奈川県クレール射撃協会をご紹介します。

スポーツ随想は、東京で開催された夏季デフリンピックで優勝した、女子バレーボールチームを紹介しています。

デフリンピックは、耳の聞こえないアスリートのための国際的な総合スポーツ競技大会で、英語「Deaf（耳が聞こえない）」と「Olympics」を組み合わせた造語で、「ろう者のオリンピック」を意味します。オリンピックと同様に4年に一度、夏季大会と冬季大会が交互に開催され、今回は日本開催でした。第1回夏季大会は1924年にフランスで開催され、100年近い歴史を持つ大会です。

公認スポーツ指導者基本登録料が令和8年10月登録以降から改定されますので該当される方は関係団体等へご確認願います。

秋の叙勲「旭日双光章」を受賞者のご紹介もしております。栄えある受賞をされ誠にありがとうございました。

最後に当協会の各種事業等に、多くの個人・団体・企業のご支援いただき、心からお礼申し上げます。

広報委員会

委員長 関口美恵子

委員 瀧本 幸文 鈴木 利夫

中村 富也 北川たつえ

岩田 寛子

スポーツ神奈川 No.106号 令和8年1月発行

発行所 横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1

公益財団法人神奈川県スポーツ協会

編集発行人 田中 不二夫

印刷所 株式会社 YukiPrint

これからももっと、 私はスポーツを楽しむんだ。

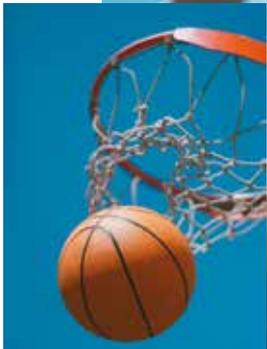
卓球歴24年。バスケ歴1日。

卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。

初対面でもあっという間に仲間になれる。

競技人生での楽しさとは違う、
スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

スポーツ安全保険®

小さな掛金で
 充実補償

ネットで
 簡単手続き

熱中症も
 対象



保険の詳しい内容、資料の請求は、
 ホームページをご覧ください。

#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団
 #放課後事業 #総合型地域スポーツクラブ #教室
 #部活動地域展開 #文化系サークル #ボランティア

加入区分・掛金 (年度初回加入時は4名以上)

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども (中学生以下)	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円
	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下 B 65歳以上	2,000円 1,200円
大人 (高校生以上)	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円
子ども (中学生以下)	個人活動補償型 A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人 (高校生以上)	個人活動補償型 C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下	5,000円
	個人活動補償型 B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
 (注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和8年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉
 東京海上日動火災保険株式会社 ☎ 0120-233-801
 担当課 公務第二部 文教公務室 (平日9:00~17:00)
 〈共同引受保険会社(令和8年4月予定)〉
 あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

Spo-An For Fun Sports & Cultural Activities | 公益財団法人
スポーツ安全協会
<https://www.sportsanzen.org>

時代の変化に対応し、2024年度、3学部体制でスタート

健康医療科学部に続き、2024年度は工学部と情報学部の改組再編を行います。時代の変化に柔軟に対応するため、新学科の設置、学科の大括り化を行い、全ての学生が成長できる学びのスタイルを構築し、動機づけ教育、教育のデジタル化、グローバル教育、産学連携教育など、教育内容、教育力のさらなる向上をめざします。

工学部

機械工学科(2024年4月改編)
電気電子情報工学科(2024年4月改編)
応用化学生物学科(2024年4月開設)

情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科
情報システム学科(2024年4月開設)

健康医療科学部

看護学科(看護師・保健師養成課程)
管理栄養学科(管理栄養士養成課程)
臨床工学科(臨床工学技士養成課程)

※設置計画は予定であり、内容に変更があります。



神奈川工科大学

KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

KAIT(カイト)は、神奈川工科大学のコミュニケーションネームです。

TEL 046-291-3000

E-mail nys@kait.jp

〒243-0292

神奈川県厚木市下荻野1030

URL <https://www.kait.jp>

[KAIT]で検索するとHPにアクセスできます。

KAIT

検索

